株式会社クラフティア（東証プライム：1959）
2027年3月期　中間期　決算説明会

JPX-NIKKEI 400



KRAFTIA

技術の力で、次のフロンティアへ。

2026年11月12日

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

目次

2027年3月期　中間期　決算概要	2
連結業績の概要	3
営業利益増減要因	4
工事売上高・平均利益率	5・6
部門別売上高・受注高の状況	7
期末手持工事高の状況	8
主な施工実績	9
発電事業の収支状況	10
貸借対照表の概要	11
宇久島太陽光発電所	12
宇久島島内の状況	13
送電概略図	14
今後のシナリオ	15
新たな事業スキーム	16
2027年3月期の見通し	17
公表値	18
公表値の部門別売上高・受注高の内訳	19
配当金および政策保有株式の推移	20
中期経営計画	21
経営目標	22
投資総額2,000億円の実績	23
戦略的M&Aの施策	24
Appendix	25～43

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期 中間期 決算概要

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期　連結業績の概要

★赤文字は中間期として過去最高を更新

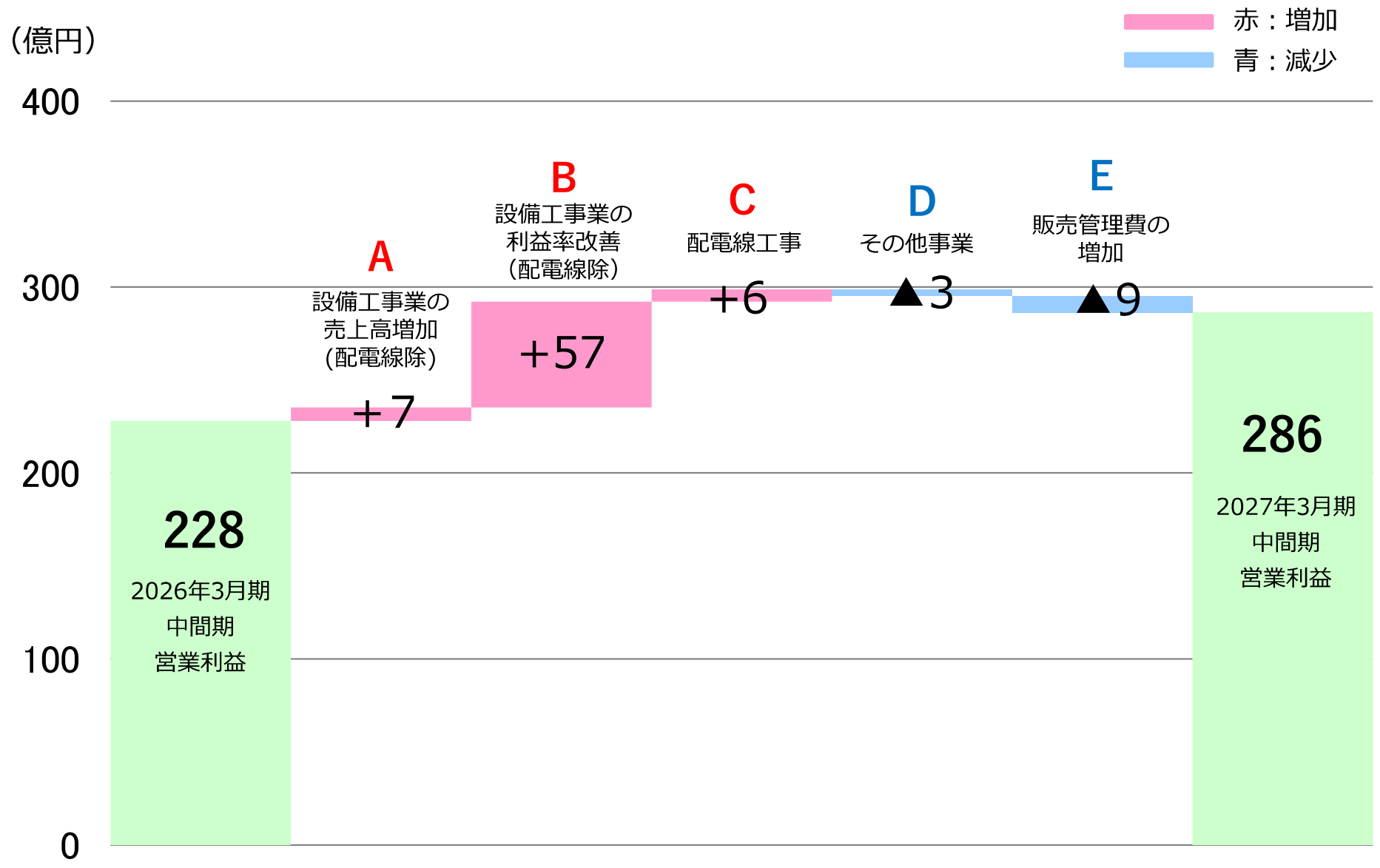
(百万円、下段は売上高比率)

	2026年3月期 中間期①	2027年3月期　中間期			
		実績②	増減②－①	増減率	公表値(※)
売上高	207,725 (100.0%)	218,544 (100.0%)	+10,818	+5.2%	500,000 (100.0%)
売上総利益	38,826 (18.7%)	**45,557** (20.8%)	+6,730	+17.3%	96,000 (19.2%)
営業利益	22,804 (11.0%)	**28,652** (13.1%)	+5,847	+25.6%	61,000 (12.2%)
経常利益	24,178 (11.6%)	**31,312** (14.3%)	+7,133	+29.5%	65,000 (13.0%)
親会社株主に帰属する中間純利益	14,937 (7.2%)	**21,344** (9.8%)	+6,407	+42.9%	42,500 (8.5%)
受注高	275,256	**278,405**	+3,148	+1.1%	495,000
手持工事高	530,953	**545,643**	+14,690	+2.8%	-

(※) 2026年10月29日 発表数値

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

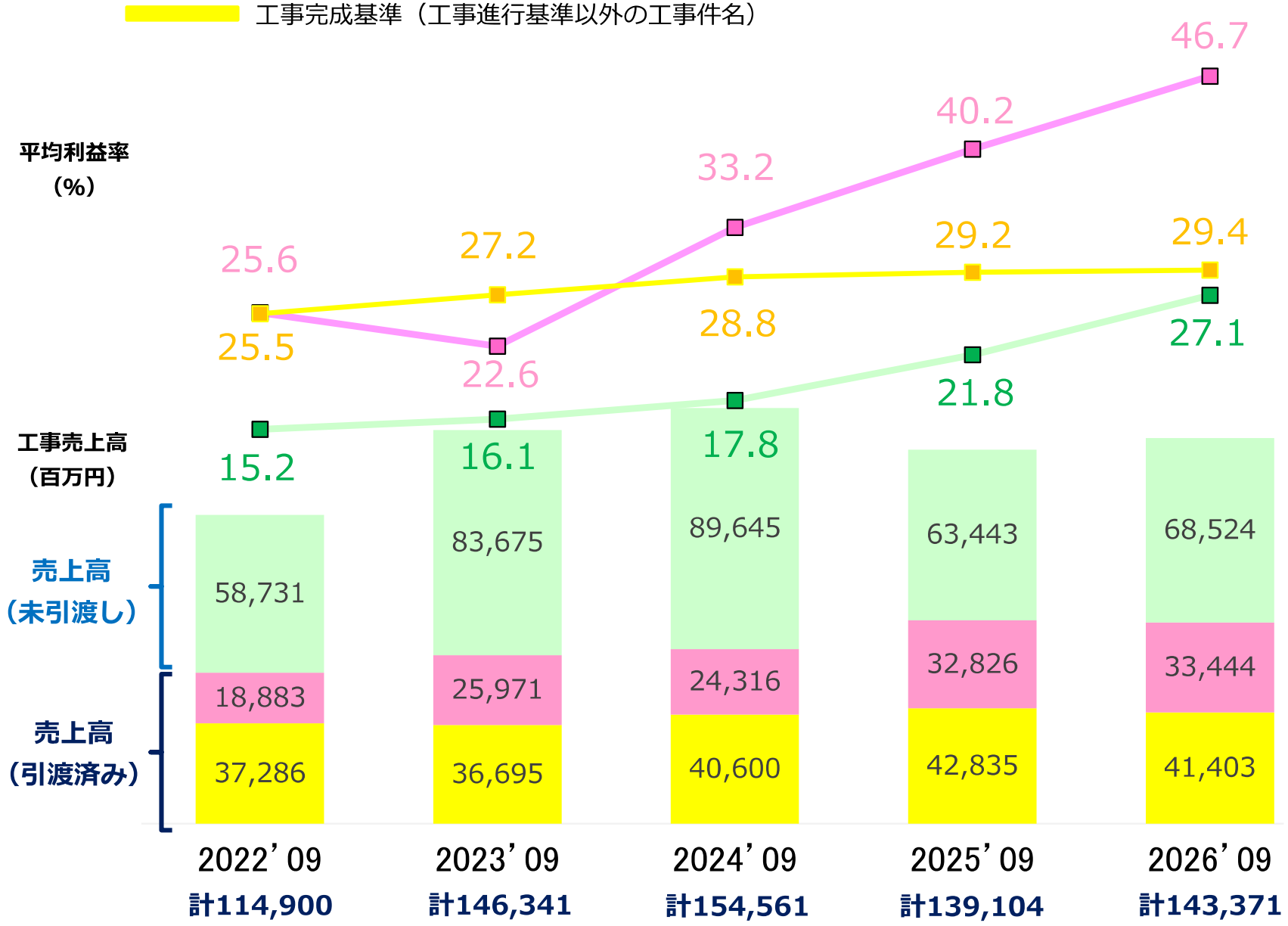
2027年3月期　中間期　営業利益増減要因



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

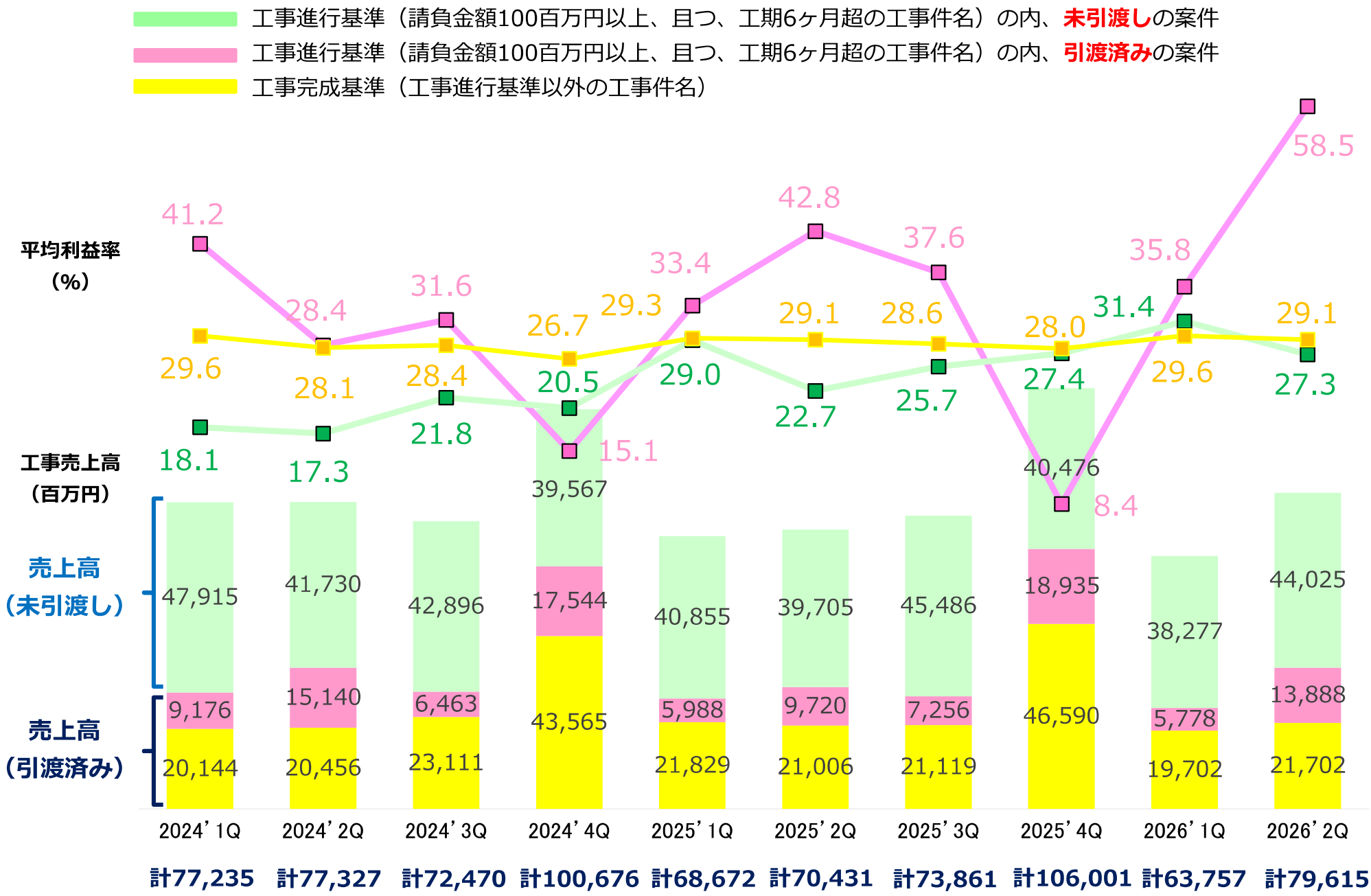
工事売上高・平均利益率＜クラフティア単体（配電線、宇久島除く）＞

工事進行基準（請負金額100百万円以上、且つ、工期6ヶ月超の工事件名）の内、**未引渡し**の案件
工事進行基準（請負金額100百万円以上、且つ、工期6ヶ月超の工事件名）の内、**引渡済み**の案件
工事完成基準（工事進行基準以外の工事件名）



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

工事売上高・平均利益率　四半期会計期間別
＜クラフティア単体（配電線、宇久島除く）＞

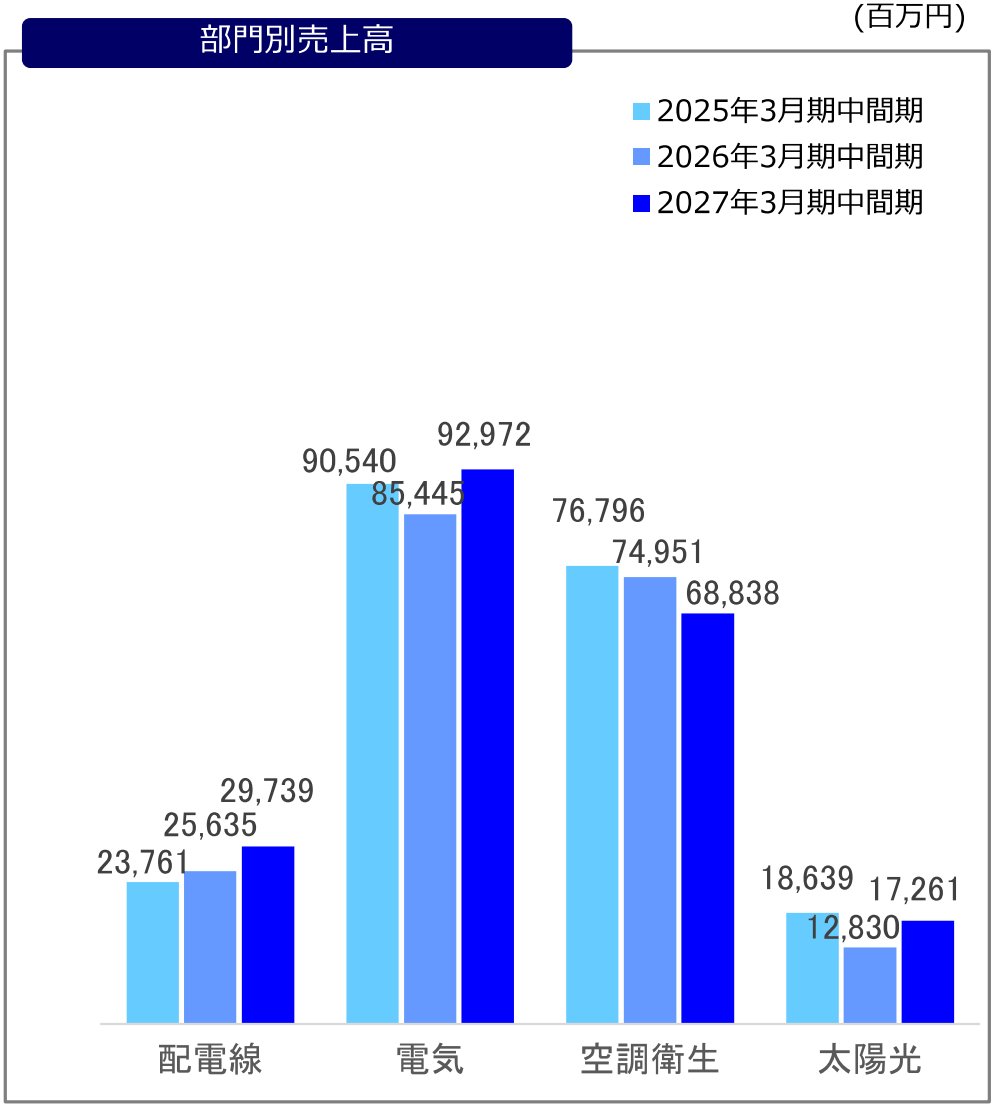


All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期　部門別売上高・受注高の状況＜設備工事業＞

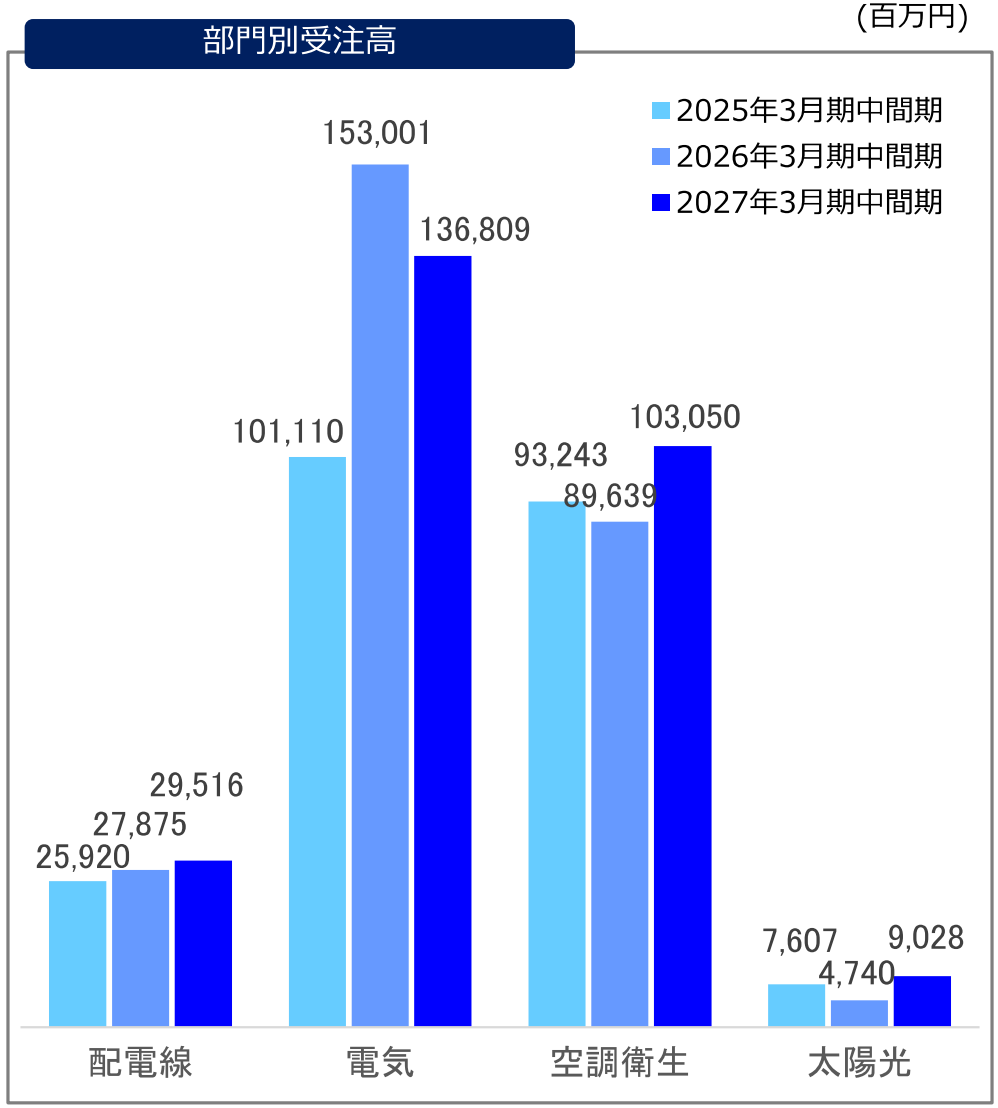
(百万円)

部門別売上高



(百万円)

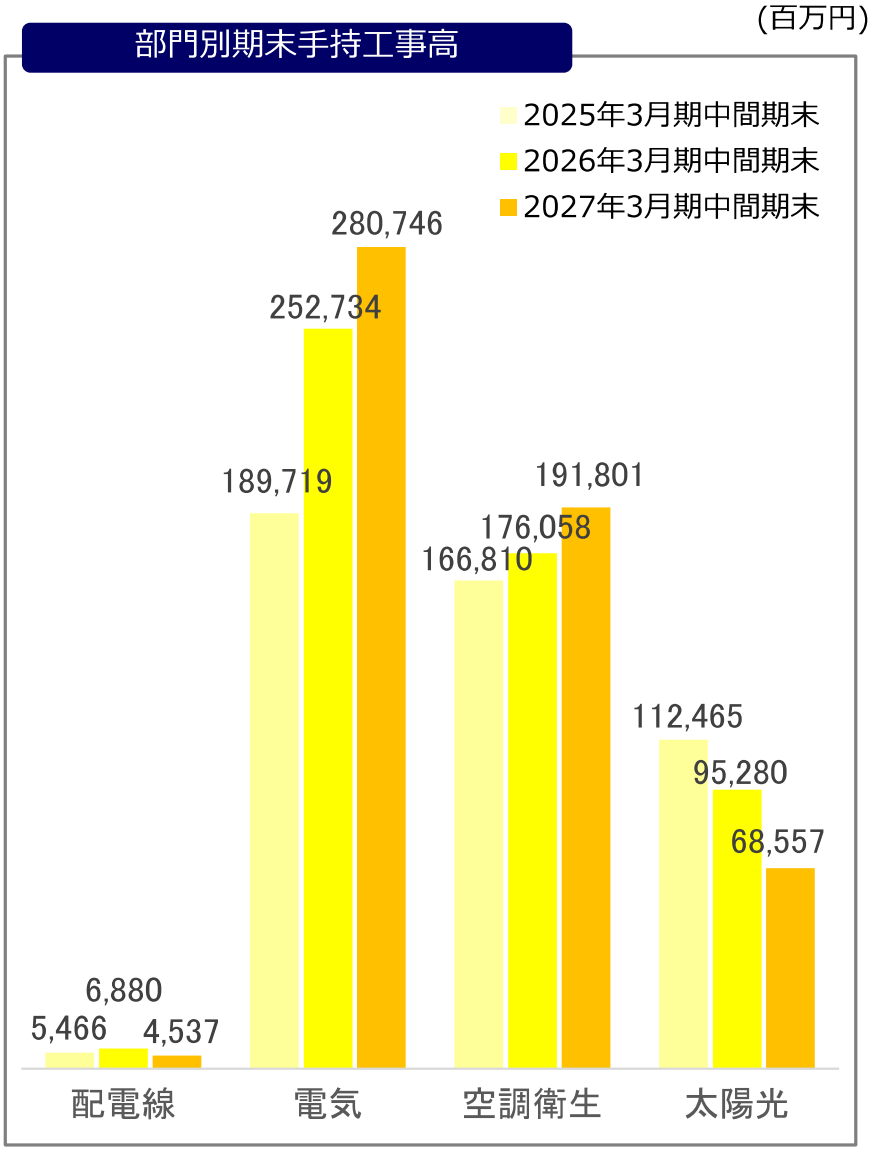
部門別受注高



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期末手持工事高の状況＜設備工事業＞

部門別期末手持工事高



2027年3月期　中間期末における主な手持工事案件

- 【横　浜】パレスホテル箱根
- 【福　岡】（仮称）ICアリーナ新築工事
- 【北九州】サカエ理研工業北九州工場第２工場新設工事
- 【鹿児島】（仮称）EU実験棟整備計画実験棟新築工事及び本館エレベーター棟増築工事

パレスホテル箱根



（仮称）ICアリーナ新築工事



サカエ理研工業北九州工場第２工場新設工事

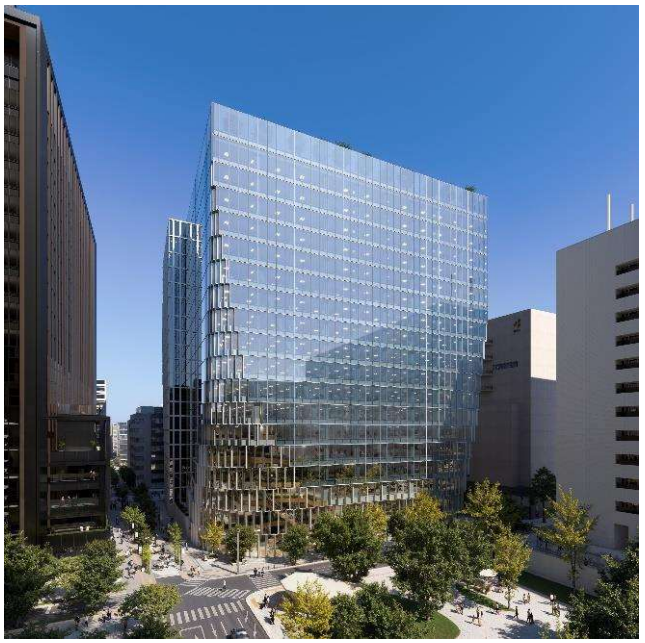


All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期　主な施工実績

- 【福　岡】（仮称）天神ビジネスセンター2期計画新築工事
- 【福　岡】誠愛リハビリテーション病院再整備工事
- 【北九州】PORT TOWN MOJIKO 本館建設事業
- 【北九州】株式会社正興電機製作所ひびきの研究開発センター新築工事
- 【大　分】富士フイルムエレクトロニクスマテリアルズ大分工場
  新棟建築工事
- 【宮　崎】ラピスセミコンダクタ株式会社宮崎第二工場1期電源工事
- 【東　京】（仮称）葛飾区奥戸物流施設計画
- 【大　阪】（仮称）本町4丁目プロジェクト
- 【沖　縄】新石川調理場整備運営事業建設工事

（仮称）天神ビジネスセンター2期計画新築工事



PORT TOWN MOJIKO 本館建設事業



ラピスセミコンダクタ株式会社宮崎第二工場1期電源工事



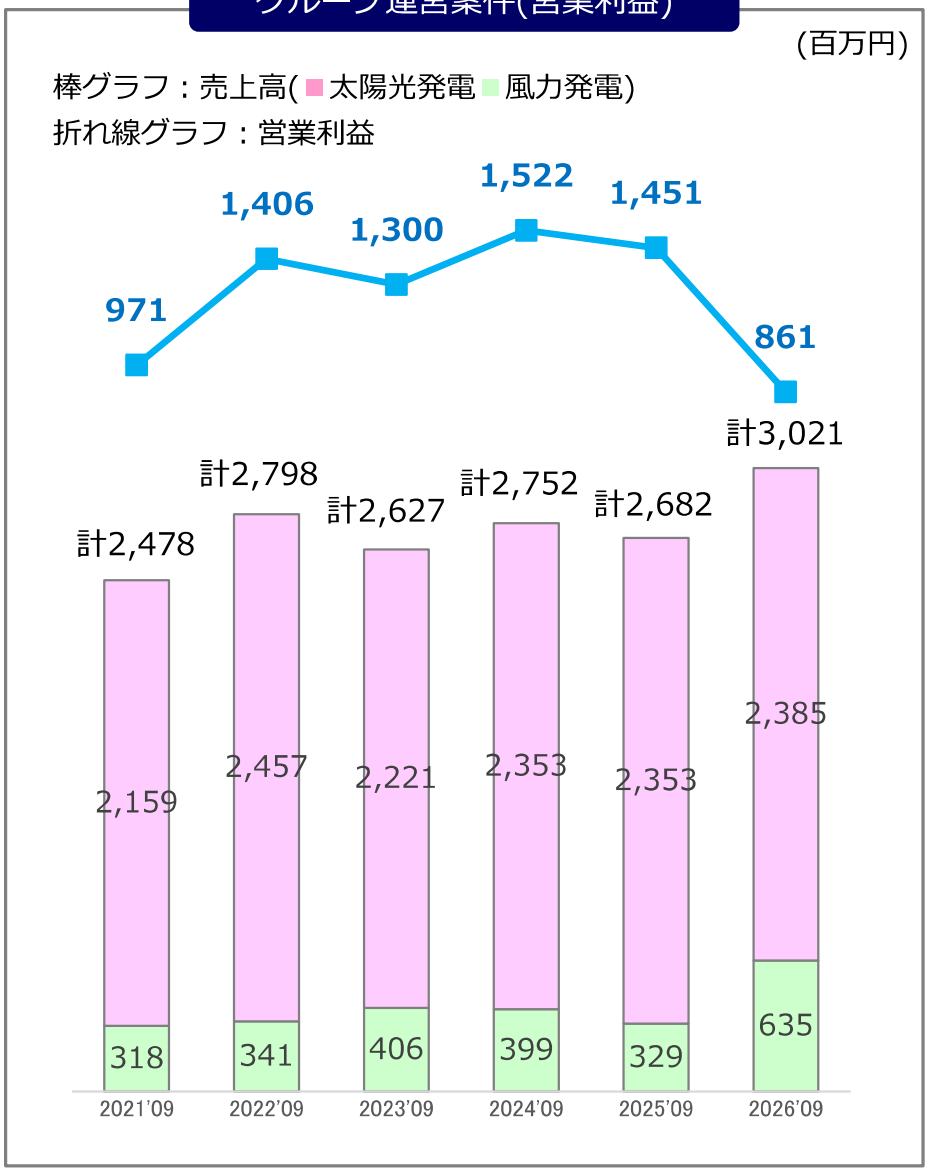
（仮称）葛飾区奥戸物流施設計画



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

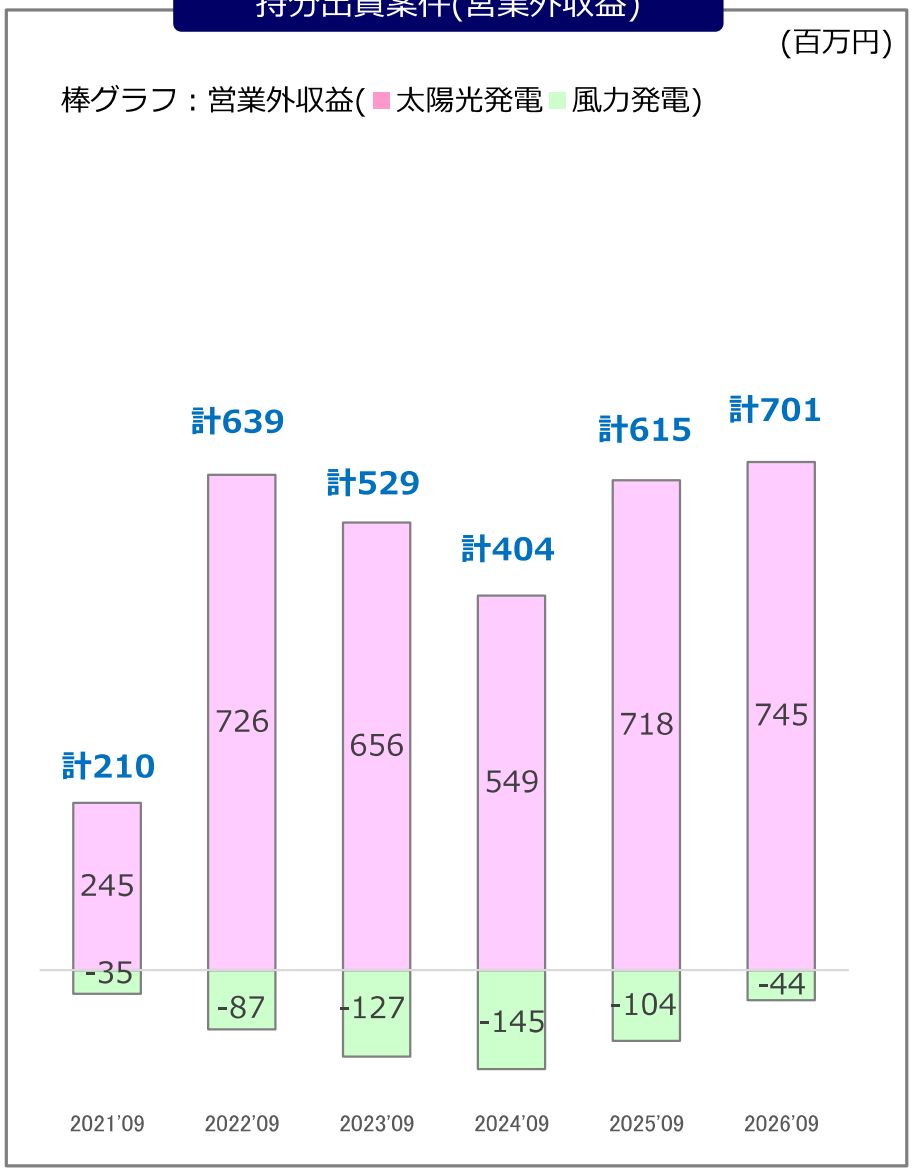
発電事業の損益状況

グループ運営案件(営業利益)



発電所数【太陽光51ヶ所・風力5ヶ所】

持分出資案件(営業外収益)



発電所数【太陽光57ヶ所・風力5ヶ所】

※建設中1ヶ所

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

貸借対照表の概要

（百万円、下段は構成比）

	2026年3月末	2026年9月末	増減	主な増減要因
流動資産	298,303 (57.0%)	280,780 (53.9%)	▲17,522	現金預金▲2,360 受取手形・完成工事未収入金等▲19,824
固定資産	224,965 (43.0%)	239,701 (46.1%)	+14,735	有形固定資産+2,833 投資有価証券+9,375
資産合計	523,268 (100.0%)	520,481 (100.0%)	▲2,786	
流動負債	146,706 (28.0%)	128,711 (24.7%)	▲17,994	支払手形・工事未払金等▲11,280 電子記録債務▲2,353
固定負債	24,917 (4.8%)	25,190 (4.8%)	+272	長期借入金▲348
負債合計	171,624 (32.8%)	153,902 (29.6%)	▲17,721	
純資産合計	351,644 (67.2%)	366,579 (70.4%)	+14,934	株主資本+12,166 (純利益+21,344、配当金支払▲9,212)
負債純資産合計	523,268 (100.0%)	520,481 (100.0%)	▲2,786	

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

宇久島太陽光発電所

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

宇久島島内の状況

■宇久島の交直変換所（HVDC）の建屋が完成。現在、HVDCシステム機器の搬入・据付作業を進めている。

■2工区および3工区でパネル設置作業や送・配電柱の建柱工事を進めている。4工区・6工区・寺島は伐採作業、5工区は準備作業を開始。













All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

送電概略図

■宇久島及び寺島で発電した交流の電気を直流に変換し、海底ケーブルにて九州電力送配電の西佐世保変電所へ連系し送電する。

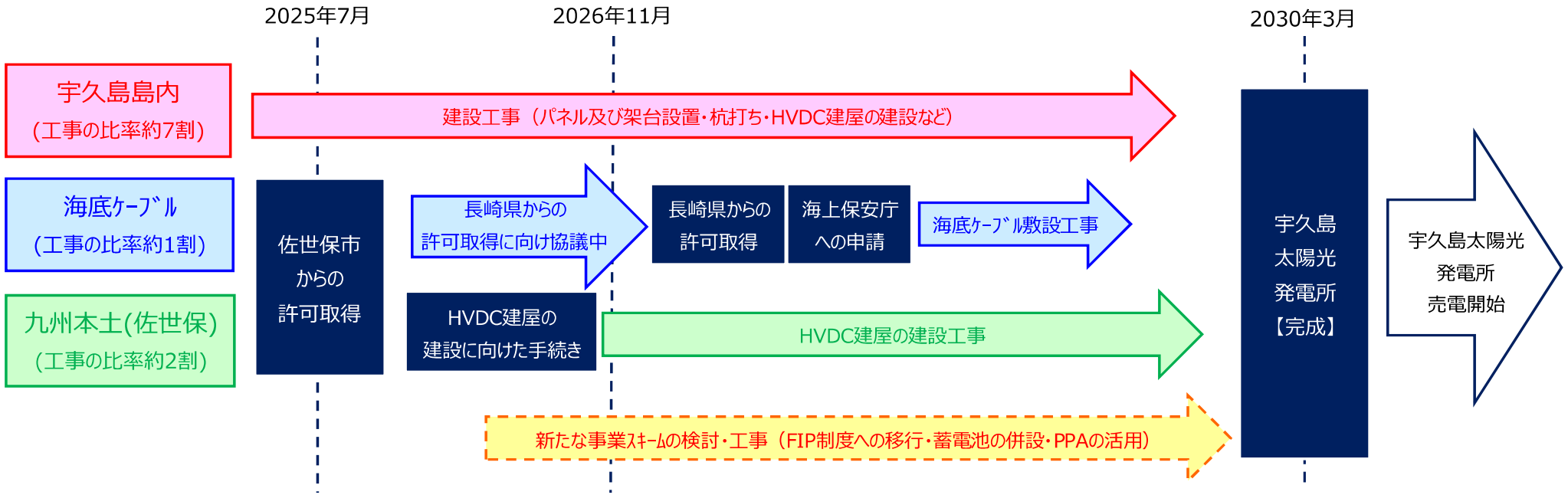
■引き続き、長崎県へ「県が管轄する海域の占有」について県及び関係者と協議し、許可の取得手続きを進めている。

■佐世保の交直変換所（HVDC）建屋の建設に向け、11月より仮設工事が開始。



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

今後のシナリオ



Ⅰ．海底ｹｰﾌﾞﾙについて

- 2025年7月、SPCは佐世保市より「市が管轄する海域」の占有許可を取得。
- 現在は、長崎県から「県が管轄する海域」の占有許可取得に向けて協議中。
- 長崎県からの許可を取得後、海上保安庁へ申請し、海底ｹｰﾌﾞﾙの敷設工事に着手。
- なお、宇久島沿岸部については、宇久小値賀漁協様から同意書を取得し、長崎県からの許可も取得済み。

Ⅱ．九州本土について

- 佐世保市からの許可を取得後、HVDC建屋の建設に向けた各種手続きが完了。
- 11月より仮設工事が開始。その後、建屋の建設工事に着手。

Ⅲ．SPCの事業採算性について

- 当初計画から売電開始時期が遅れており、FIT期間(～2040年9月末)の短縮による採算性悪化が懸念される。
- 上記に対し、SPCとして新たな事業ｽｷｰﾑ（FIP制度への移行・蓄電池の併設・PPAの活用）を検討し、工事を進めていくことで収益改善を目指す。
- SPCと金融機関は融資契約締結に向けて交渉を継続しており、早期の融資契約締結を目指している。

Ⅳ．EPCの工事期間と工事採算性について

- 工事全体の約7割を占める宇久島島内の工事は進捗している。
- 2029年度中の完成となるものの、工程上のｸﾘﾃｨｶﾙﾊﾟｽである「佐世保HVDC建屋」の工事は開始(“Ⅱ”に記載)したことから、完成に向けて見通しはｸﾘｱになってきている。
- ｺｽﾄ上昇分の増額発注については、SPCと協議している。
- 工事未収金に関しては、SPCが資金調達を行った都度回収できる見込み。

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

新たな事業スキーム（SPCが2026年10月29日にリリース）

2026 年 10 月 29 日

宇久島みらいエネルギーホールディングス合同会社

長崎県佐世保市宇久島での太陽光発電事業に関する進捗について

宇久島みらいエネルギーホールディングス合同会社（以下、当社）は、長崎県佐世保市宇久島で進める太陽光発電事業について、長期的かつ安定的な事業運営に向け、出資企業と新たな事業スキームの具体的な検討を開始しました。

■これまでの経緯

本事業は、2013 年 4 月より、ドイツに本拠を置くプロジェクト開発会社であるフォトボルト・デベロップメント・パートナーズ社（以下、PVDP）が、地球環境保護への貢献と離島である宇久島の経済活性化を図り、島の再生を目的に計画したメガソーラープロジェクトとしてスタートしました。2018 年 1 月に、PVDP は当社へ権利を移転することに合意し、新たな計画として再始動しました。2020 年 4 月、本事業の事業性を確認できたことから、京セラ株式会社、SPCG Public Company Limited、株式会社九電工（現 株式会社クラフティア）、東京センチュリー株式会社、古河電気工業株式会社、坪井工業株式会社などが当社へ出資することに関する契約を締結しました。

■2020 年 4 月当初事業計画の概要

事業名称	宇久島メガソーラー事業
合同会社 出資企業	京セラ㈱、SPCG Public Company Limited、㈱九電工（現㈱クラフティア）、 東京センチュリー㈱、古河電気工業㈱、坪井工業㈱、他
発電能力	太陽光発電システム 480MW
年間発電量	51.5 万 MWh を予測（一般家庭約 17 万 3,000 世帯分※1 の年間発電量に相当）
年間 CO2 削減量	約 27 万 4,750t※2
建設予定地	長崎県佐世保市宇久島 （島面積：2,493 万㎡、人口：約 2,000 人）
総投資額	2,000 億円程度になる計画
スケジュール	2020 年度より開始

※1　1 世帯当り 2,973.6kWh/年で算出 出典：一般財団法人日本原子力文化財団「原子力・エネルギー図面集」

※2　一般社団法人太陽光発電協会「表示に関する業界自主ルール」に基づいて算出

本事業は 2020 年 4 月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う資機材の調達や工事工程の遅延などにより、完工および売電開始時期が当初計画から遅れています。

■今後の計画

当社は、こうした計画遅延に対し、長期的かつ安定的な事業運営に向け、新たな事業スキームへの移行について具体的な検討を開始しました。新たな事業スキームでは、FIT 制度から FIP 制度（Feed-in Premium）への移行、発電所への蓄電池の併設、PPA（電力購入契約）を活用した長期的な電力販売などについて検討していきます。新たな事業スキームに基づき検討する太陽光発電事業所の運転開始時期については、現時点では 2029 年度中を目標としていますが、今後の検討状況を踏まえ、具体的な時期が決まり次第、改めて発表いたします。

当社は、関係各社および地域の皆さまと連携しながら、新たな事業スキームの実現可能性を精査するとともに、安全を最優先に、本事業を着実に推進してまいります。

お問い合わせ先
宇久島みらいエネルギーホールディングス合同会社
090-3062-7847（斉田）
080-4061-4505（木下）
070-8708-6806（元田）

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期の見通し

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　公表値

※2026年10月29日に修正

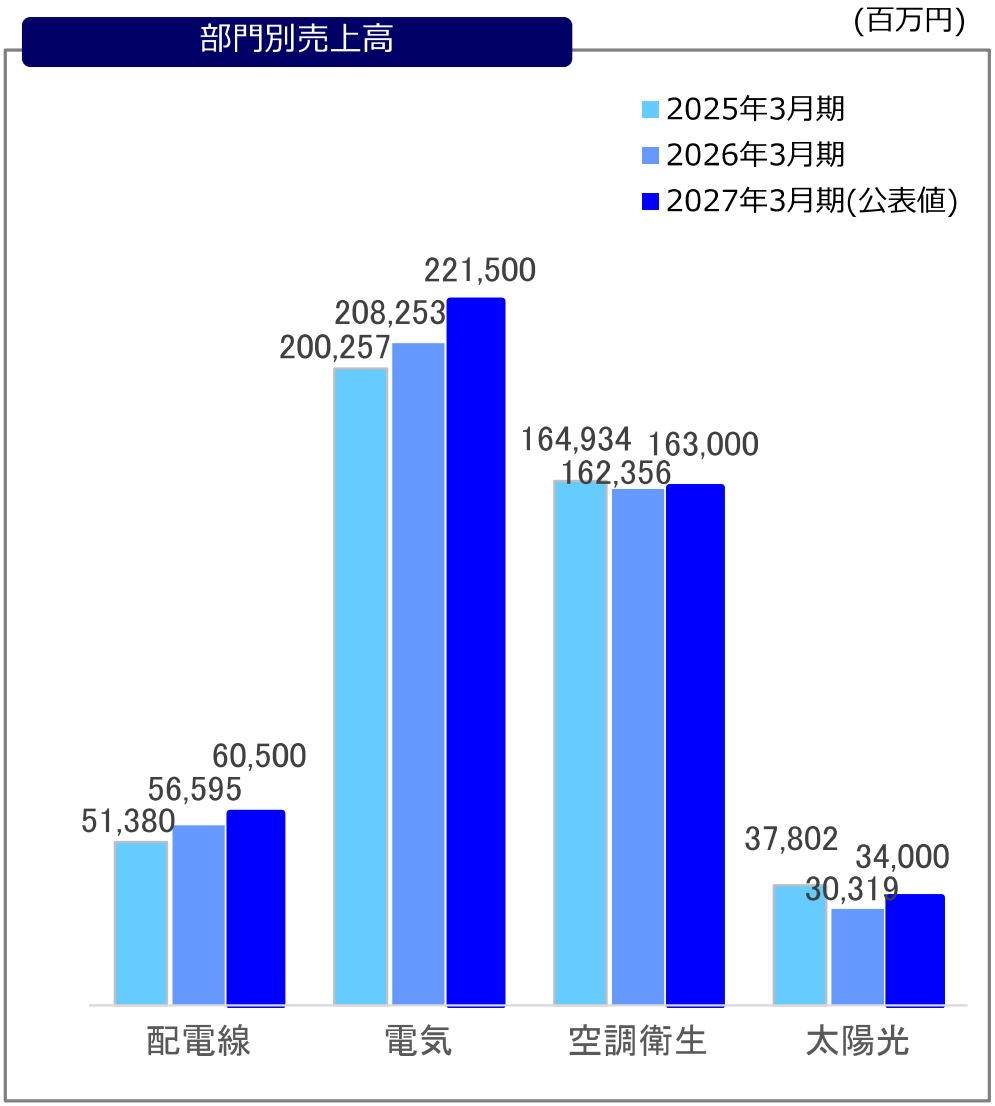
(百万円、下段は売上高比率)

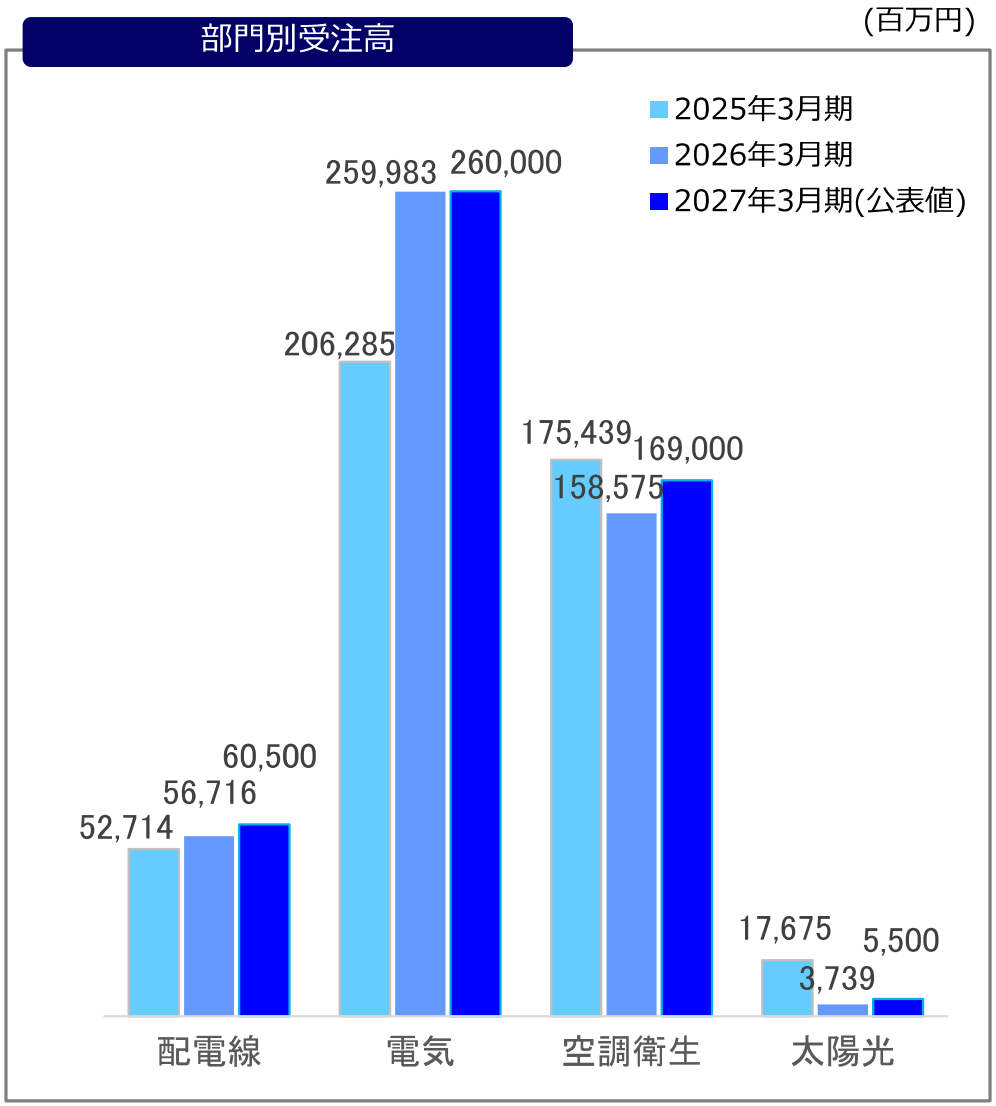
	2026年3月期 実績	2027年3月期			
		公表値 ※	増減率	中間期	進捗率
売上高	476,123 (100.0%)	500,000 (100.0%)	+5.0%	218,544 (100.0%)	43.7%
売上総利益	87,074 (18.3%)	96,000 (19.2%)	+10.3%	45,557 (20.8%)	47.5%
営業利益	54,600 (11.5%)	61,000 (12.2%)	+11.7%	28,652 (13.1%)	47.0%
経常利益	58,157 (12.2%)	65,000 (13.0%)	+11.8%	31,312 (14.3%)	48.2%
親会社株主に帰属する当期（中間）純利益	40,053 (8.4%)	42,500 (8.5%)	+6.1%	21,344 (9.8%)	50.2%
受注高	479,014	495,000	+3.3%	278,405	56.2%

一株当たり当期（中間）純利益	566.25円	600.78円	301.74円
配当金	220円 中間90円,期末130円	240円 中間120円、期末120円	

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　公表値の部門別売上高・受注高の内訳



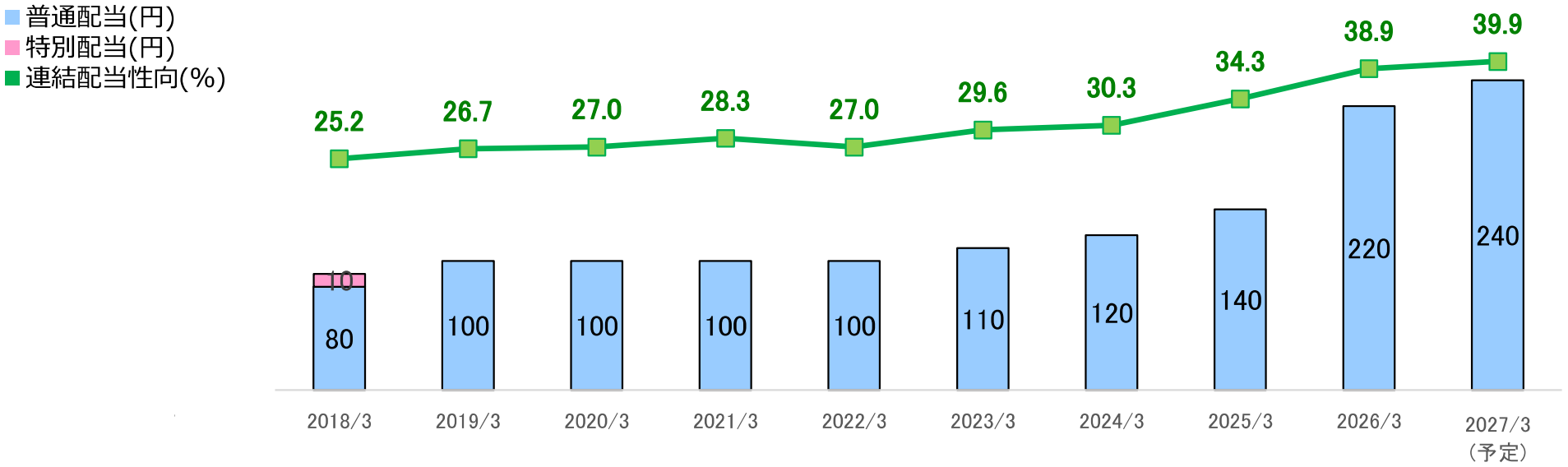


All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

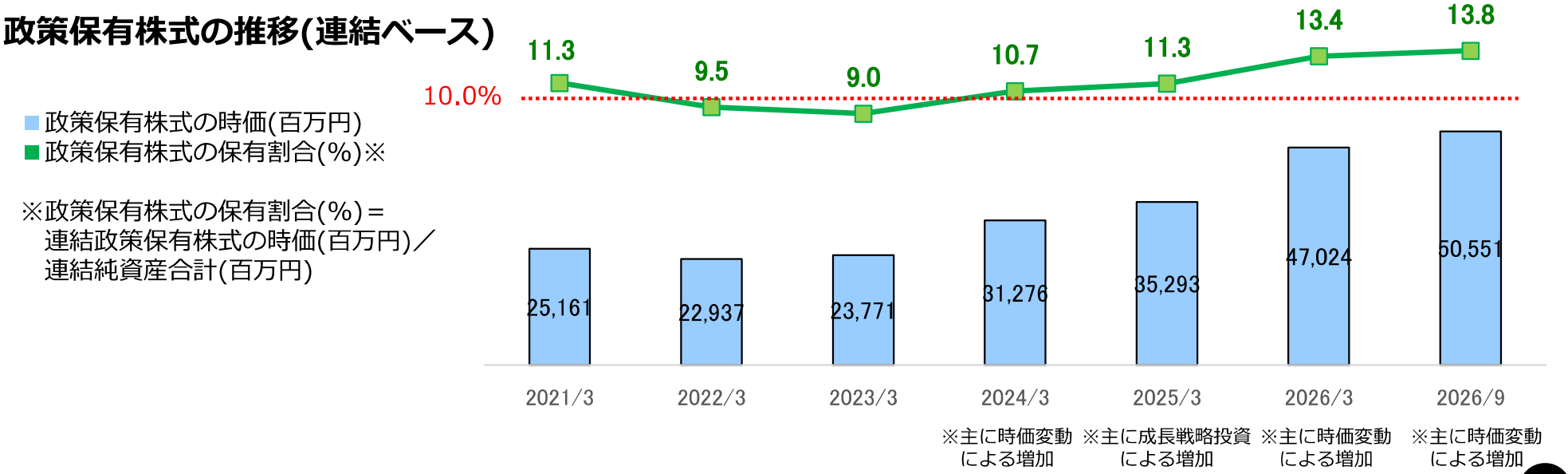
配当金および政策保有株式の推移

1株当たり配当金(年間)および連結配当性向の推移

連結配当性向40%目安
累進配当



政策保有株式の推移(連結ベース)



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中期経営計画

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中期経営計画2025～2029＜経営目標＞

KRAFTIA

● **財務目標と非財務目標を設定して、持続的な成長を実現していく。** Make Next.

財務目標数値

連結経常利益	ROIC※1	投資総額	株主還元
2029年度	2029年度	中計期間合計	連結配当性向40%目安 累進配当の実施
600億円	10%以上	2,000億円	

※1　ROICは当社のビジネスモデルを勘案のうえ、投資効率を適切に示す「税引後事業利益」を分子に使用して計算する。
税引後事業利益＝税引後経常利益＋支払利息

非財務目標数値

人的資本経営

従業員数（連結） 2029年度 12,000人	従業員年収水準 2029年度 45歳平均年収1,000万円	ｴﾝｹﾞｰｼﾞﾒﾝﾄｽｺｱ 72点以上	教育訓練費 2029年度 2024年度比 50%UP	中計期間における人的資本経営総費用の想定額 500億円程度
売上高生産性の向上（1h当たり） （電気・空調管） 前中計期間平均値　比 中計期間平均値　10%UP	高度専門人財 新規採用 2029年度までに 50名増加	女性管理職 2029年度 2024年度比 2倍	男性育児休暇 取得率 100%	

安全・ガバナンス

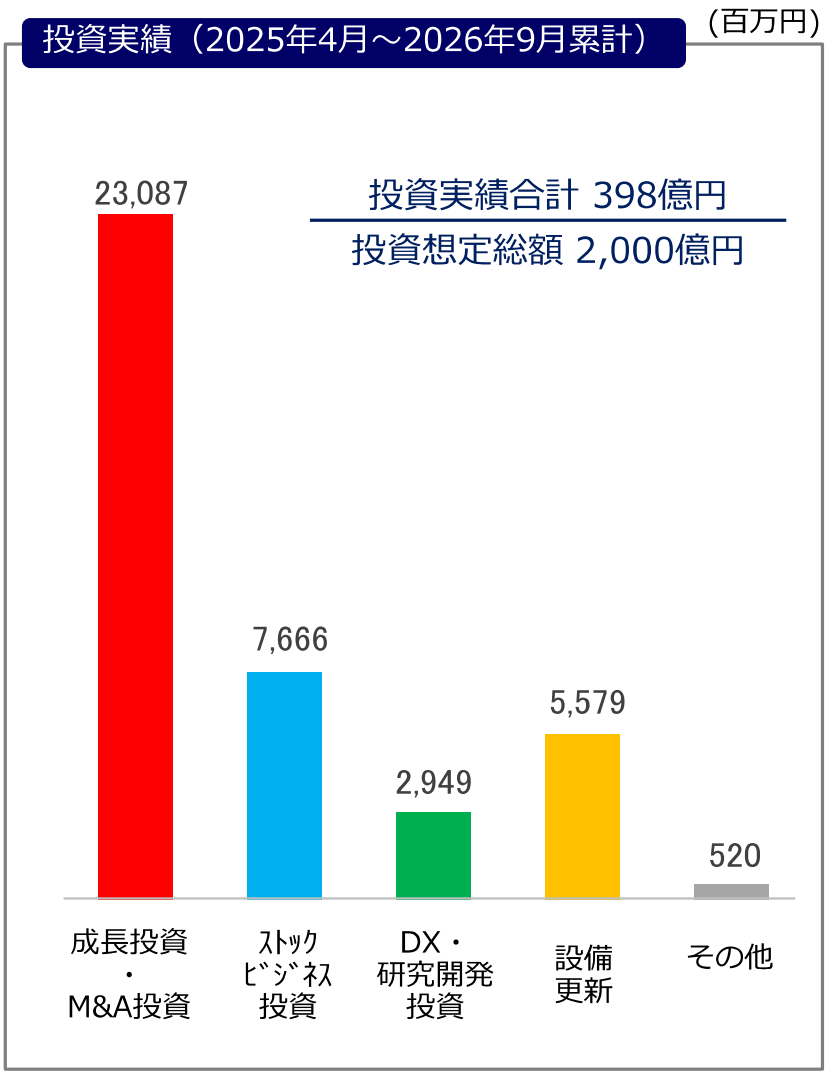
重大な法令違反 （刑事・行政処分） 0件	重大な災害 （死亡災害） 0件	サイバー対策 機密情報漏洩 0件

環境経営

CO2排出量 Scope1＋2 ▲50%以上

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中計＜投資総額2,000億円の実績＞



成長投資・M&A投資 【投資想定額800億円】

- カーボンニュートラル関連事業への投資拡大
- エネルギー貯蔵装置への投資（系統用蓄電池）
- DC（データセンター）関連事業への参画
- 不動産関連事業への参画
- 都市インフラ事業への参画（PPP/PFI事業）
- 事業領域の拡大に向けた戦略的なM&Aの実施（能動的M＆A）
- 海外事業における協業拡大

ストックビジネス投資 【投資想定額800億円】

- 遊休不動産の利活用
- 蓄電池事業への投資
- 卒FIT電源の活用
- ソーラーカーポート等のPPA事業の拡大
- 環境価値取引への挑戦（非化石証書・Jクレジット等）
- 施設運営事業子会社の強化・再編

DX・研究開発投資他 【投資想定額180億円】

- 業務効率化に向けた建設DXへの投資・研究
- 社内業務システムの再構築
- 生成AIの業務活用検討
- サイバーセキュリティ対策の推進
- 省エネ、省コスト、省人化に関する研究開発
- 環境価値の創造と卒FITに関する研究開発

設備更新（環境投資含） 【投資想定額220億円】

- 老朽化した既存設備の更新、改修
- 自社設備のカーボンニュートラル化
- 循環型社会形成への対応
- 教育施設の充実

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

戦略的M&Aの施策

- 当中計期間においては、事業領域の拡大に向けた戦略的なM&A（能動的M&A）を実施していく方針。

1. クラフティア・イノベーション・投資事業有限責任組合【CVCファンド】

当社出資額	運用期間	設立	投資対象	主な投資領域
50億円 ※総コミットメント額	10年間	2025年 11月	国内の スタートアップ企業 （マイノリティ出資）	グリーンイノベーション AI・デジタル 建設テック 不動産・街づくり

2. クラフティア・サクセッション・バリュー・パートナーズ投資事業有限責任組合【CPEファンド】

当社出資額	運用期間	設立	投資対象	主な投資領域
200億円 ※総コミットメント額	10年間	2026年 8月	上場含む 国内企業 （主にマジョリティ出資）	グリーンイノベーション 配電・電気・空調衛生・情報通信工事関連 AI・デジタル 建設テック 不動産・街づくり　など

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

Appendix

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

当社の概要

社名	株式会社クラフティア
設立	1944年（昭和19年）12月1日
資本金	125億6,156万円　(2026年9月末現在)
上場市場：コード	東京証券取引所プライム市場、福岡証券取引所：1959
本社	福岡市中央区天神一丁目11番1号 ONE FUKUOKA BLDG.14階
東京本社	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60
拠点 （2026年9月末現在）	本社、東京本社、国内13支店、96営業所・支社、海外8拠点
建設業認可	国土交通大臣許可（特4）第1659号
従業員数 （2026年9月末現在）	連結11,559名[単体7,472名]　※連結子会社以外への出向者等92名を含む

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

新社名【株式会社クラフティア】※英文表記 KRAFTIA Corporation

K＋CRAFT＋I＋A

Kyushu
九州/九電工

CRAFT
技術、技能、技巧

Innovation
革新

Action
実行

九州発の歴史や九電工の想いを受け継ぎながら、一人ひとりが技術・技能を磨き、
「快適な環境づくり」のために、「技術を革新」し、「技術で実行」する。

信頼に応える「技術実行力」と挑戦を止めない「技術革新力」で、
可能性に満ちた「フロンティア」を切り拓いていきたい。

その決意を込めた名前が「**KRAFTIA/クラフティア**」です。

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

企業理念・長期ビジョン

企業理念

1. 快適な環境づくりを通して社会に貢献します。
2. 技術力で未来に挑戦し、新しい価値を創造します。
3. 人をいかし、人を育てる人間尊重の企業をめざします。

長期ビジョン

ビジョンフレーズ

「MakeNext.～未来につなぐ笑顔のために～」

将来のメガトレンドを視野に持続可能な社会づくりに向けて私たちが果たす役割≪3つの貢献≫やビジョン実現に向けた基本姿勢を具体的に定めている。

当社グループが注視する4つのメガトレンド

1. 分散型エネルギー社会への移行
2. 環境意識の高まり
3. 人口構造の変化と働き方の多様化
4. デジタル技術の進歩

私たちが果たす役割≪3つの貢献≫

社会課題の解決	技術力を活かして、社会が抱える諸課題の解決に挑戦し、人々の豊かな暮らしの実現に貢献
脱炭素社会の実現	クリーンエネルギーを通じて、脱炭素社会の実現に貢献
地域公共インフラ維持・発展	電力の安定供給や設備工事・都市開発等を通じて、地域インフラの維持・発展に貢献

ビジョン実現に向けた基本姿勢

＜循環型社会実現への貢献＞

企業活動を通じ、社会課題を解決することによって、社会的価値と経済的価値を両立

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

サステナビリティ経営

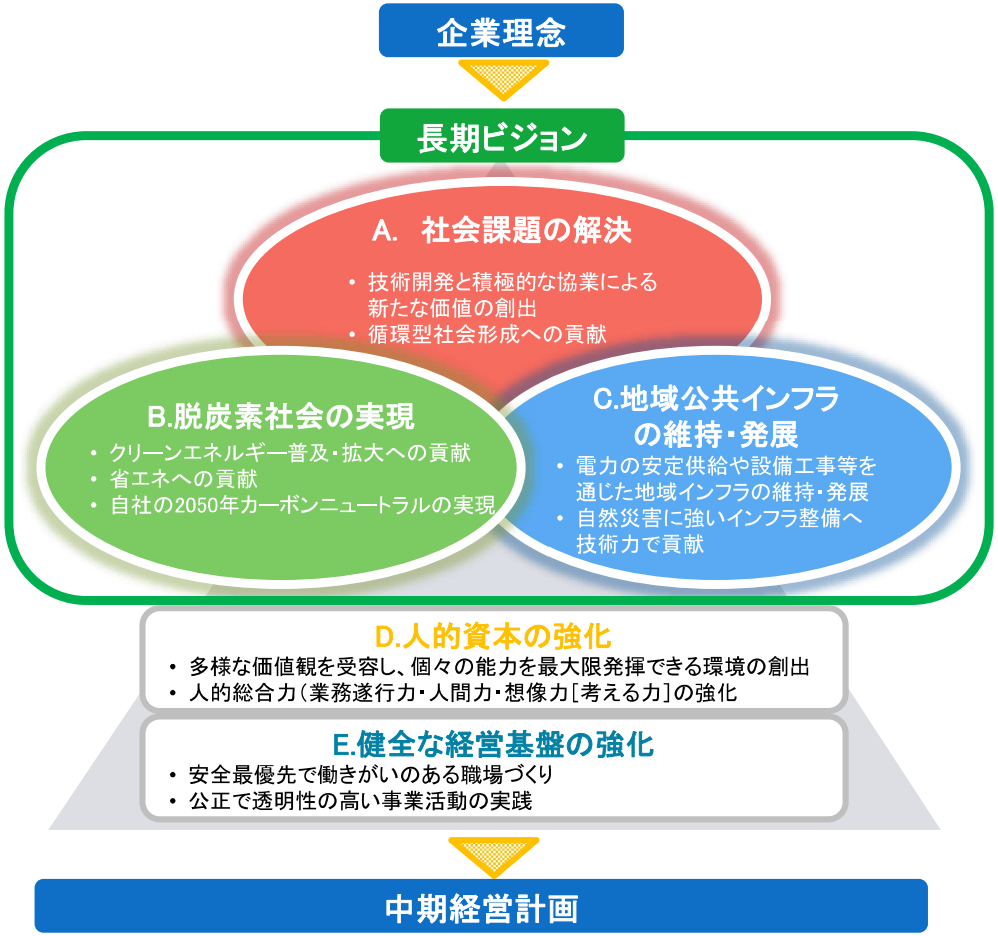
● 当社は、企業理念と長期ビジョンに基づき、サステナビリティ基本方針とマテリアリティを制定している。
このサステナビリティ基本方針のもとマテリアリティの解決に取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献するとともに企業価値向上を実現する。

サステナビリティ基本方針	クラフティアグループは、企業理念のもと、事業活動を通じ社会課題を解決することによって、持続可能な社会づくりと当社グループの企業価値の向上を実現してまいります。

マテリアリティ（重要課題）

	社会的課題	重要課題（マテリアリティ）	体系図
E 環境	気候変動 脱炭素社会 エネルギー	クリーンエネルギー普及・拡大への貢献	B
		省エネへの貢献	B
		自社の2050年カーボンニュートラルの実現	B
S 社会	ダイバーシティ／労働慣行 雇用／人権	多様な価値観を受容し、個々の能力を最大限発揮できる環境の創出	D
	労働安全衛生	安全最優先で働きがいのある職場づくり	E
	教育と研修	人的総合力（業務遂行力・人間力・想像力[考える力]）の強化	D
	地域コミュニティ	電力の安定供給や設備工事等を通じた地域インフラの維持・発展	C
	防災	自然災害に強いインフラ整備へ技術力で貢献	C
	イノベーション	技術開発と積極的な協業による新たな価値の創出	A
	廃棄物	循環型社会形成への貢献	A
G ガバナンス	組織統治 腐敗防止 コンプライアンス 公正な事業慣行 反競争的な行動	公正で透明性の高い事業活動の実践	E

マテリアリティの体系図



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中計＜財務目標数値の進捗＞

目標	2026年3月期 実績	評価・コメント
連結経常利益 2029年度 **600億円**	581億円	・2026年3月期については、当初計画値（475億円）を大きく上回る着地。 ・「物価上昇を見据えた戦略的受注活動の推進」、「技術力強化・生産性の向上」をはじめとする施策の成果として、特に電気・空調衛生の工事利益が向上。
ROIC※1 2029年度 **10%以上**	12.1%	・好調な業績から、2026年3月期は10%を上回る着地。 ・利益向上に伴い、累積する株主資本は2027年3月期以降、計画より大きくなっていくことから、宇久島プロジェクトの動向と併せた資本政策が必要。
株主還元 **連結配当性向40%目安** **累進配当の実施**	38.9%	・2026年3月期実績を鑑み、配当性向38.9%となる1株あたり年間配当金220円とした。 ・本中計期間は、累進配当を実施することから、1株あたり年間配当金が220円を下回ることはない。
投資総額 中計期間合計 **2,000億円**	241億円	・投資基準および撤退基準のルールを明確化し、ハードルレートを踏まえた投資判断している。 ・国債利率の上昇、投資家期待収益の上昇、当社株式の時価変動を背景に、WACCの水準も検討していく。

※1　ROICは当社のビジネスモデルを勘案のうえ、投資効率を適切に示す「税引後事業利益」を分子に使用して計算する。税引後事業利益＝税引後経常利益＋支払利息

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中計＜非財務目標数値の進捗（人的資本）＞

目標	2026年3月期 実績	評価・コメント
従業員数（連結） 2029年度 **12,000人**	11,122人	・2026年3月期の計画を上回っている。 ・要員増には、本社移転と社名変更、採用活動の早期化などによる相乗効果があったと推察。離職率についても減少傾向。
従業員年収水準 2029年度 **45歳平均年収1,000万円**	982万円	・業績連動賞与の導入や賃金改善による処遇改善により、年収水準（基準賃金ベース）の前年比15%UPを実施。 ・2027年3月期には目標値である1,000万円を達成できる見込み。
ｴﾝｹﾞｰｼﾞﾒﾝﾄｽｺｱ **72点以上**	72点	・処遇改善や作業服の改定、勤務地選択制度の導入など、新たな取り組みを展開。直近の結果では、目標値である72点までスコアが向上。
教育訓練費 2029年度 2024年度比　**50%UP**	21.3%UP	・新入社員（技術部門）の研修期間を1ヵ月延長し、配属後のフォローも強化。若年者への教育において技術面・精神面共に更なる充実を図る。
売上高生産性の向上 （1h当たり）（電気・空調管） 前中計期間平均値比 **中計期間平均10%UP**	14.5%UP	・売上高において電気（再エネ事業除く）、空調管ともに前中計期間平均値を上回っている。 ・バックオフィスの支援（技術事務）についても、支援体制の強化に向け、業務統一および平準化を進めており、技術者の更なる業務効率化を図る。
高度専門人財新規採用 2029年度までに**50名増加**	0名	・キャリア採用と高度専門人財の棲み分けなどを整理中。 ・2028年3月期運用開始に向けて、制度設計の検討に着手。
女性管理職 2029年度 2024年度比　**2倍**	0.8倍	・キャリア志向を高める組織風土や個々人の意識醸成を図る為、エンゲージメントサーベイの結果を踏まえ、「心理的安全性の向上」にフォーカスし、必要な施策を検討・実践する。
男性育児休暇取得率 **100%**	101.2%	・一人あたりにおける育児休暇取得日数の増加も目指す。

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

中計＜非財務目標数値の進捗（安全・ガバナンス・環境経営）＞

目標	2026年3月期 実績	評価・コメント
重大な法令違反 （刑事・行政処分） **0件**	0件	・コンプライアンス体制を強化し、本社・支店・営業所のコンプライアンス活動を活性化。 ・時間外上限規制に違反しないよう、時間外勤務予想を即時共有できるシステムを構築し、人的フォローを行うなど早期の対策を図っている。
重大な災害 （死亡災害） **0件**	0件	・重大な災害以外も含めた、災害発生情報のデータベース化を導入。 ・適宜、ルールのブラッシュアップに対応していく。また、外国人労働者増加に備え、資料を工夫する等、教育体制の多様化も推進していく。
サイバー対策 機密情報漏洩 **0件**	0件	・年々、重要度が増すセキュリティ対策について、全社員に対する教育を定期的に実施すると共に、経営層を交えた大規模セキュリティ事故訓練も開催。 ・全社員における意識醸成と、インシデントが発生しづらい仕組みの構築が必要。
CO2排出量 Scope1＋2 **▲50%以上** （2013年度対比）	▲52.1% ※1 ▲51.4% ※2	・当社カーボンニュートラル計画ロードマップに則り、環境面を意識した設備投資（EV車両、営業所PV導入など）を順次実施しており、CO2排出量の低減に努めている。 ※1. ロケーション基準：環境省より公表される平均的排出係数等を用いた算定方法。 ※2. マーケット基準：企業が契約した電力会社の電力メニューの排出原単位（電気事業者別基礎排出係数）に基づき算定。

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

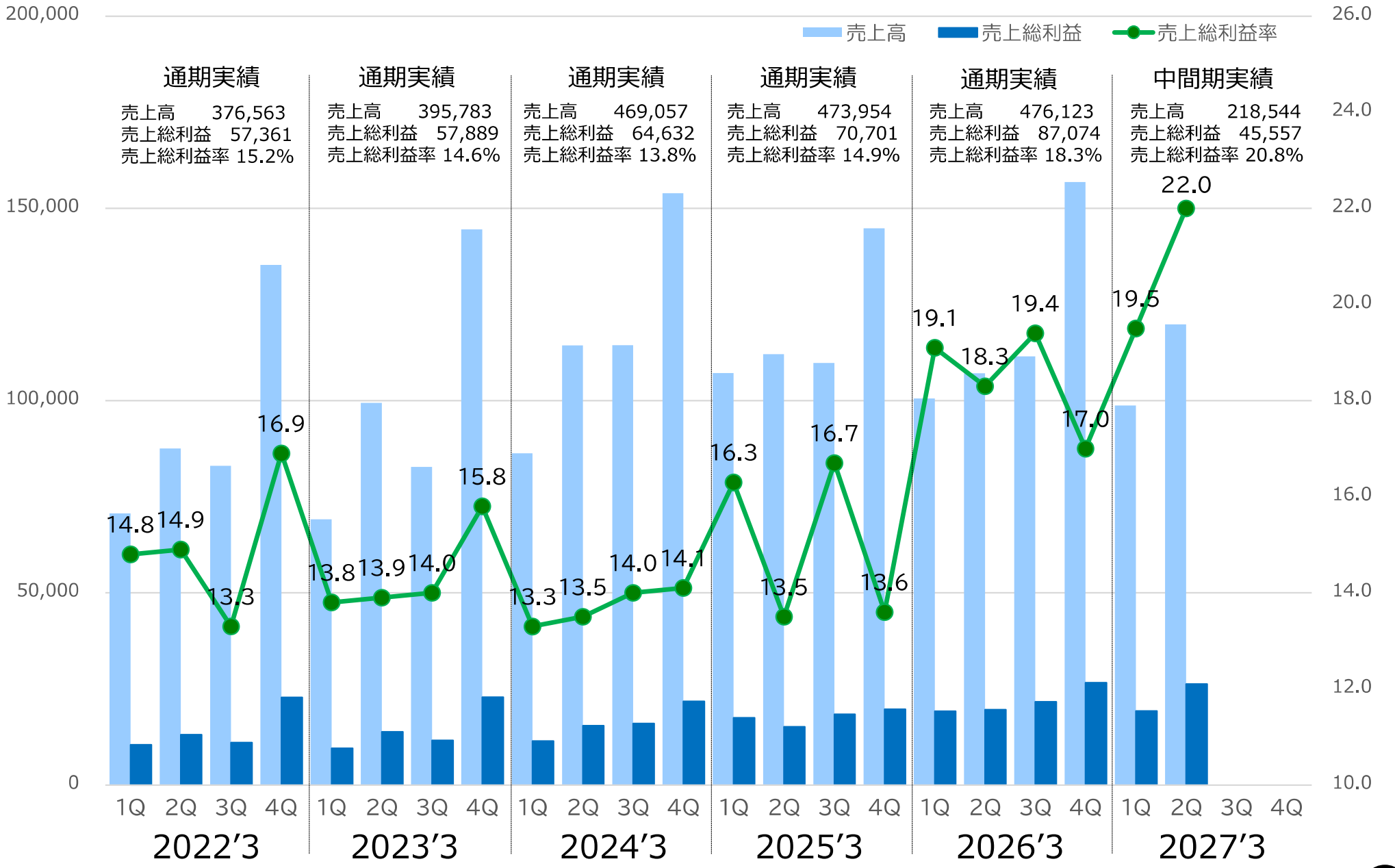
多様なビジネスモデルそれぞれの深堀り＜設備工事業＞

ﾋﾞｼﾞﾈｽﾓﾃﾞﾙ / 項目	Ⓐ 提案元請型 (地域密着)	Ⓑ サブコン型	Ⓒ 資本参加型
① 特　徴	・中型・小型工事が中心 ・施主から直接受注・元請となる	・大型工事 ・ゼネコンの下請(サブコン)	・異業種との協業のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄに資本参加し、工事を受注 ・工事利益＋応分の事業利益
② 事業ｴﾘｱ	主として九州	関東・関西等都市部	全国展開
	M&Aにより関東・関西へ	福岡都市部 全国へ事業エリア拡大	
③ 売上高	案件ごとの売上高は小さい	案件ごとの売上高は大きい	案件ごとの売上高は大きい
④ 利益率	比較的高い(施主から直接受注)	比較的低い(下請が主)	プロジェクト毎で異なる
⑤ 差別化戦略	九州、沖縄全域に約100の営業所を持つことで技術者による地域密着営業を展開	圧倒的な直営動員力	プロジェクトの企画段階から参加することで工事を確実に受注
⑥ ライバル	地元中小企業	全国大手同業各社	ゼネコン・デベロッパー
⑦ 構成比	約４０％	約５０％	約１０％

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

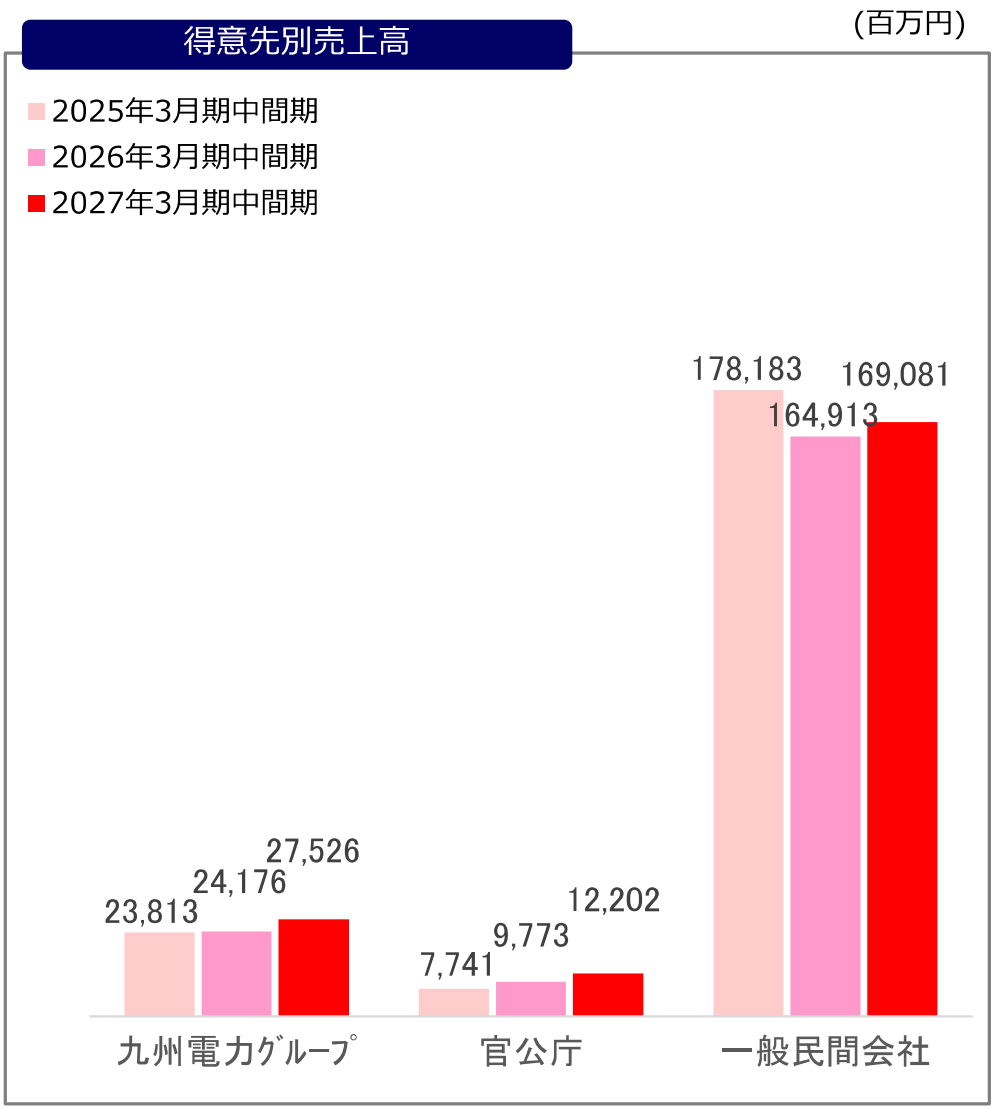
売上高・売上総利益の推移＜四半期会計期間＞

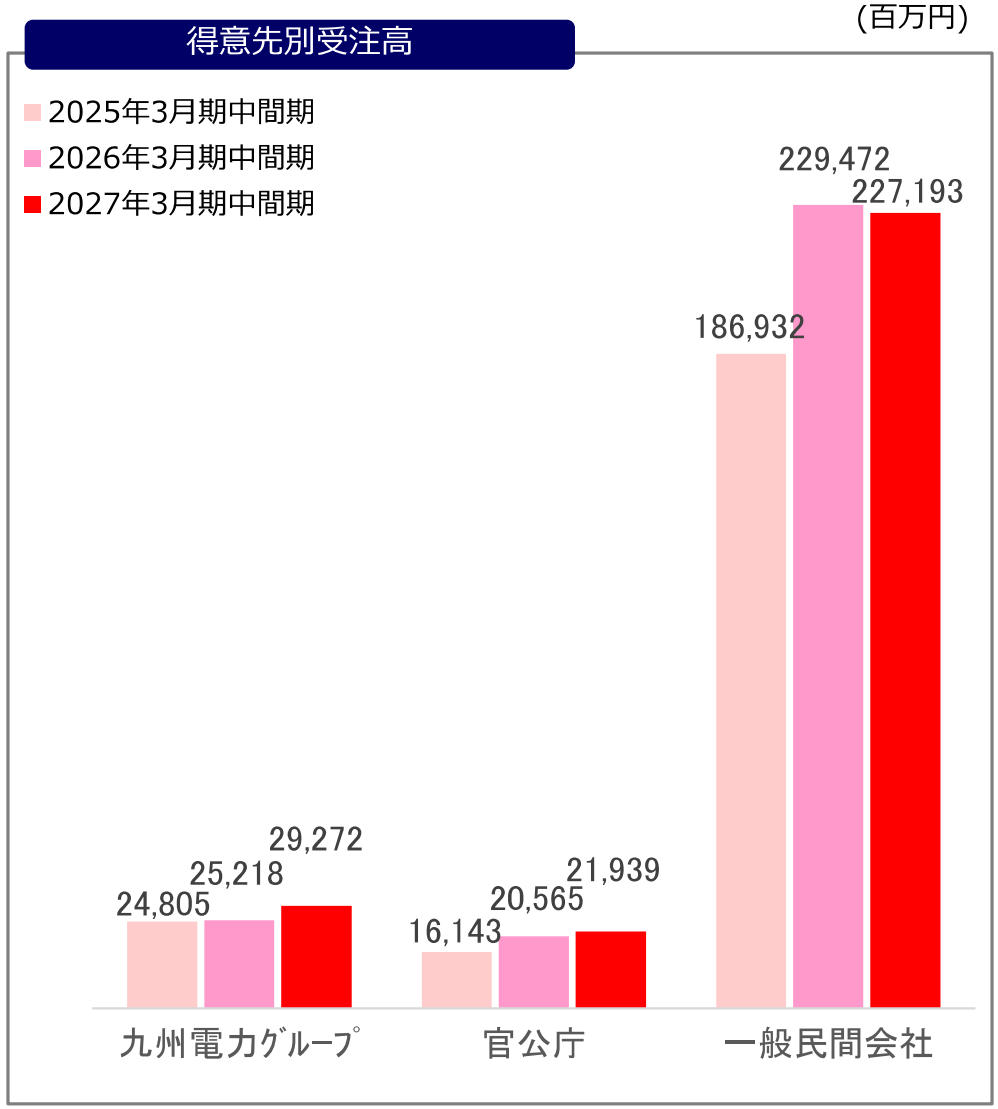
(売上高、売上総利益：百万円)　　(売上総利益率：%)



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期　得意先別売上高・受注高の状況＜設備工事業＞

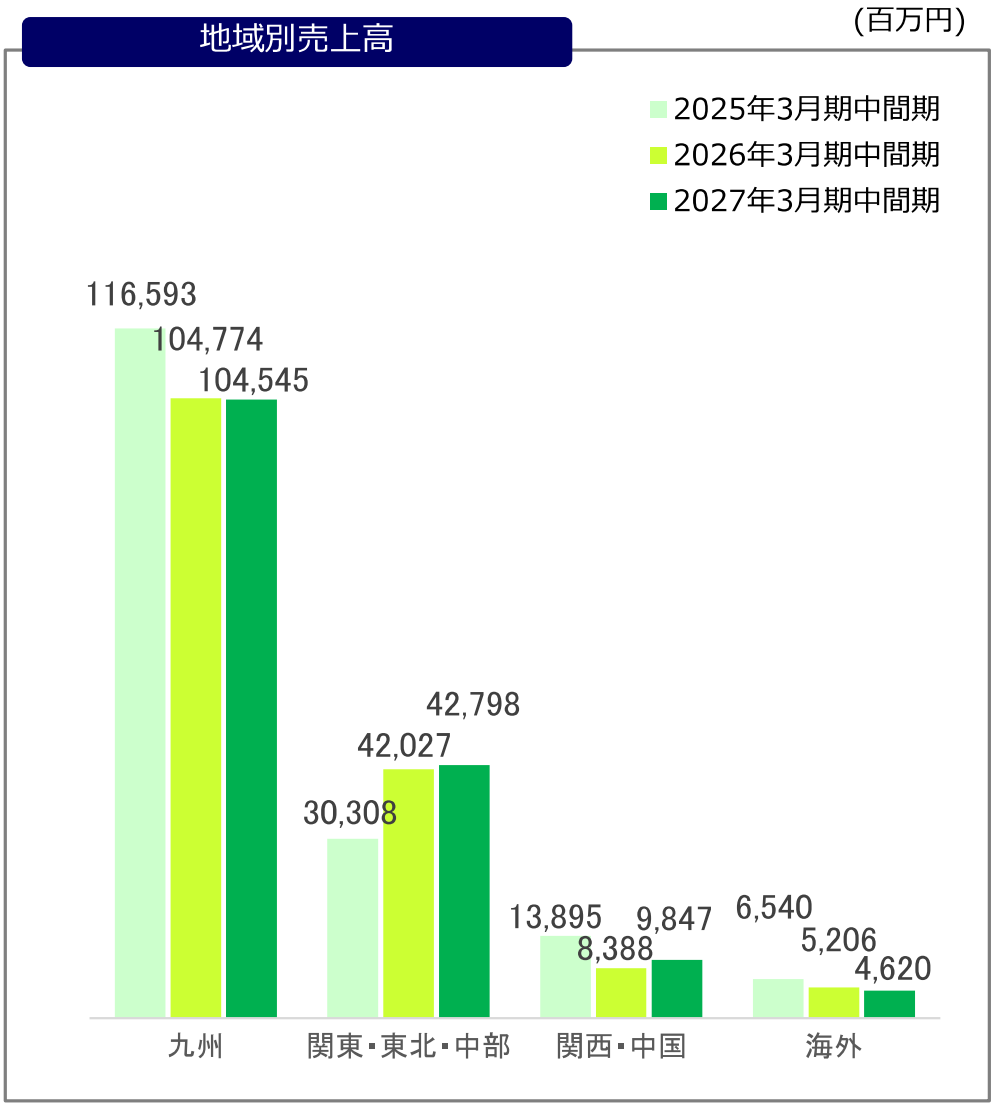




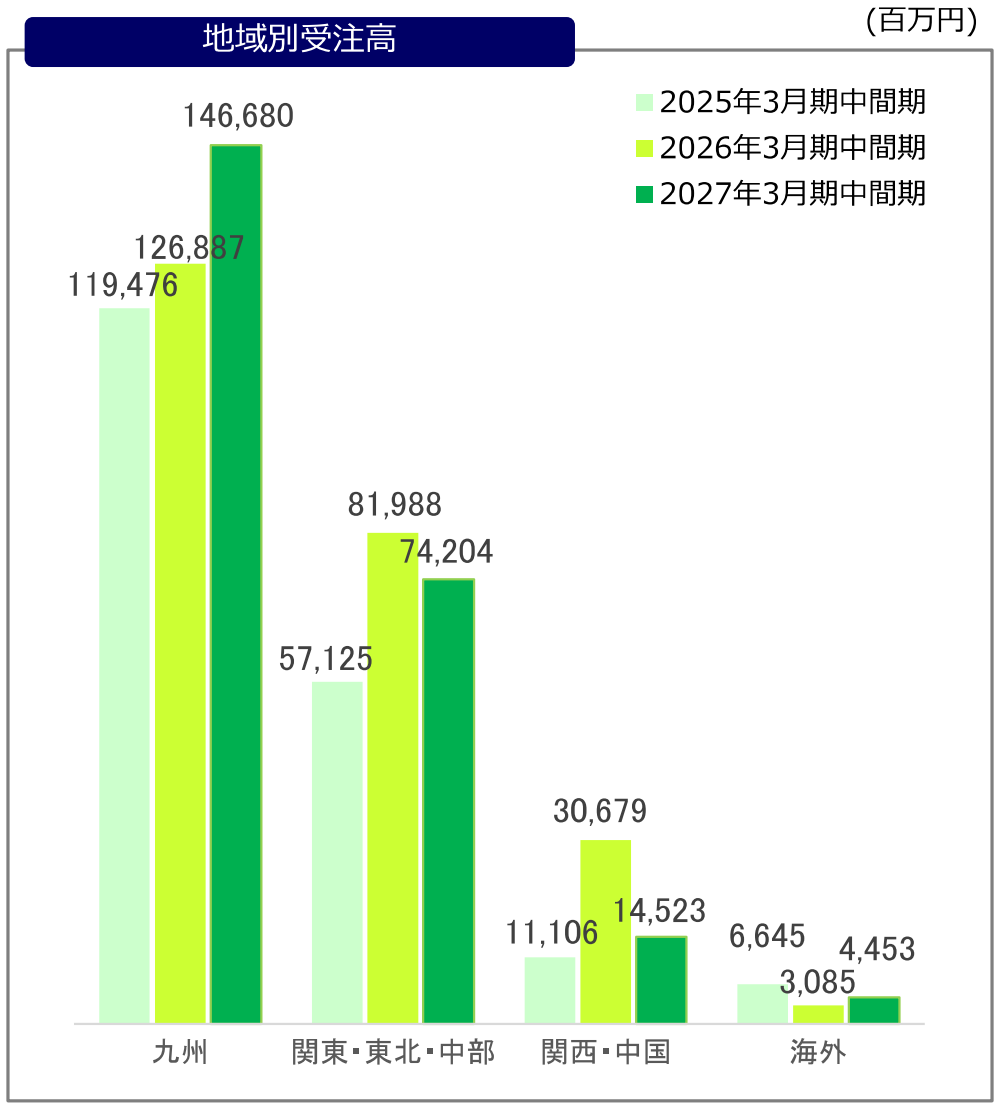
All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期
地域別売上高・受注高の状況＜電気・空調衛生工事（太陽光除く）＞

地域別売上高



地域別受注高

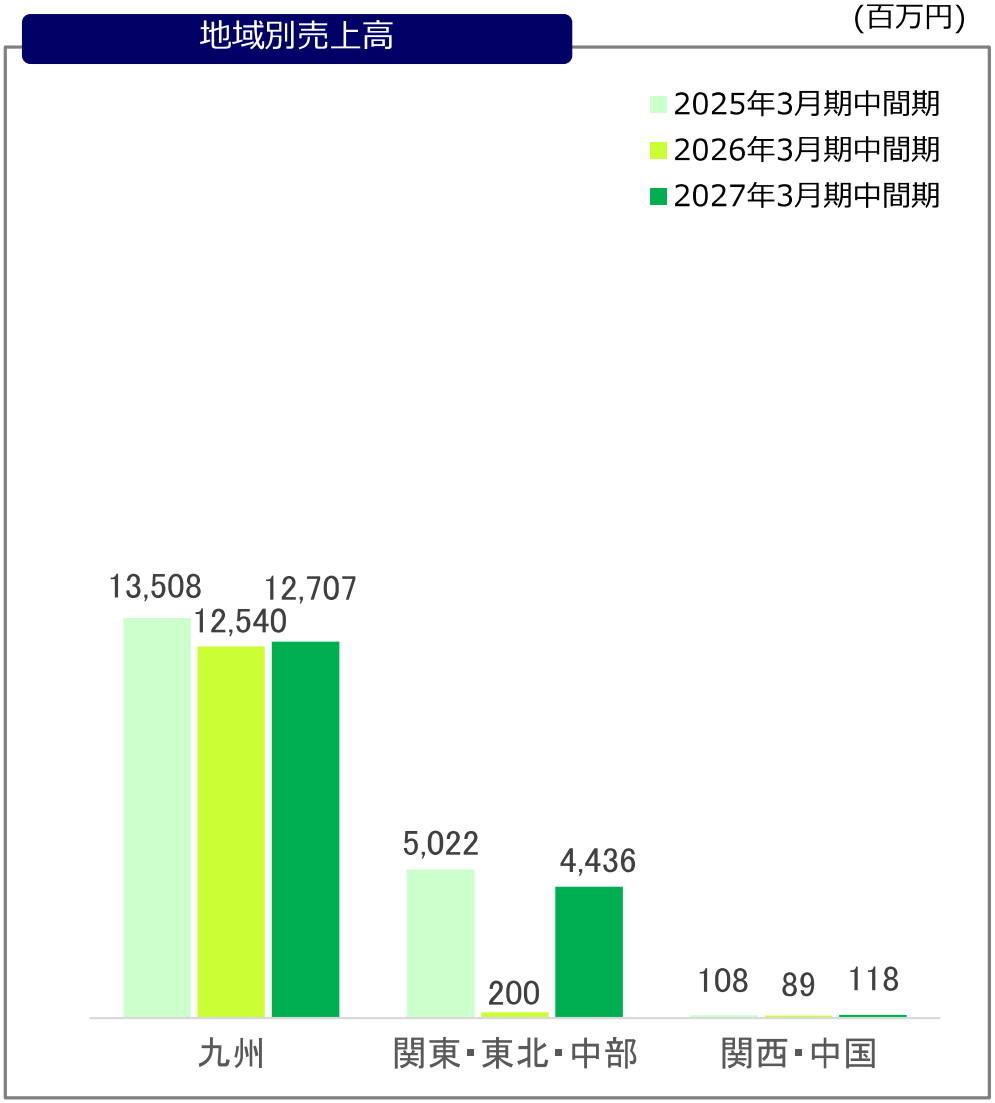


All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

2027年3月期　中間期
地域別売上高・受注高の状況＜太陽光発電所建設工事＞

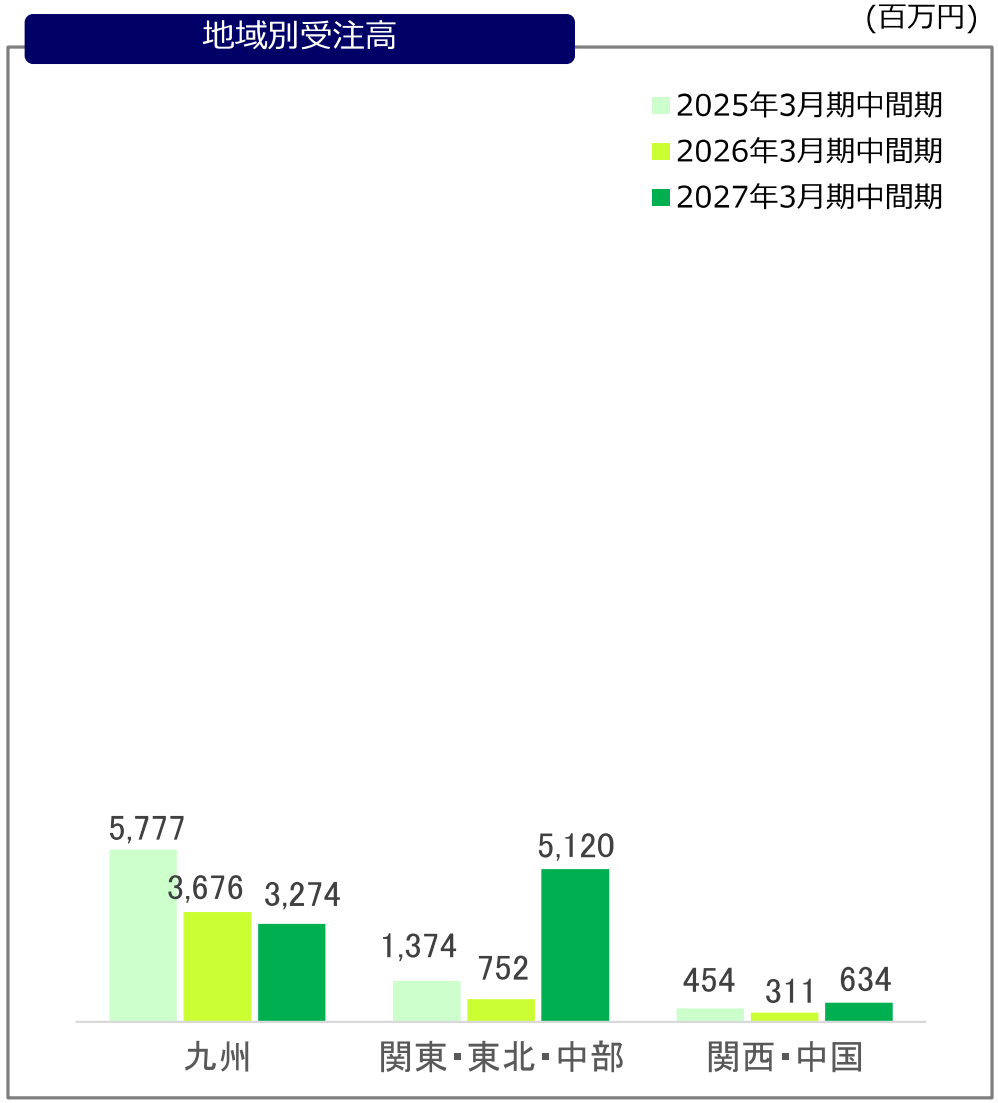
地域別売上高

(百万円)



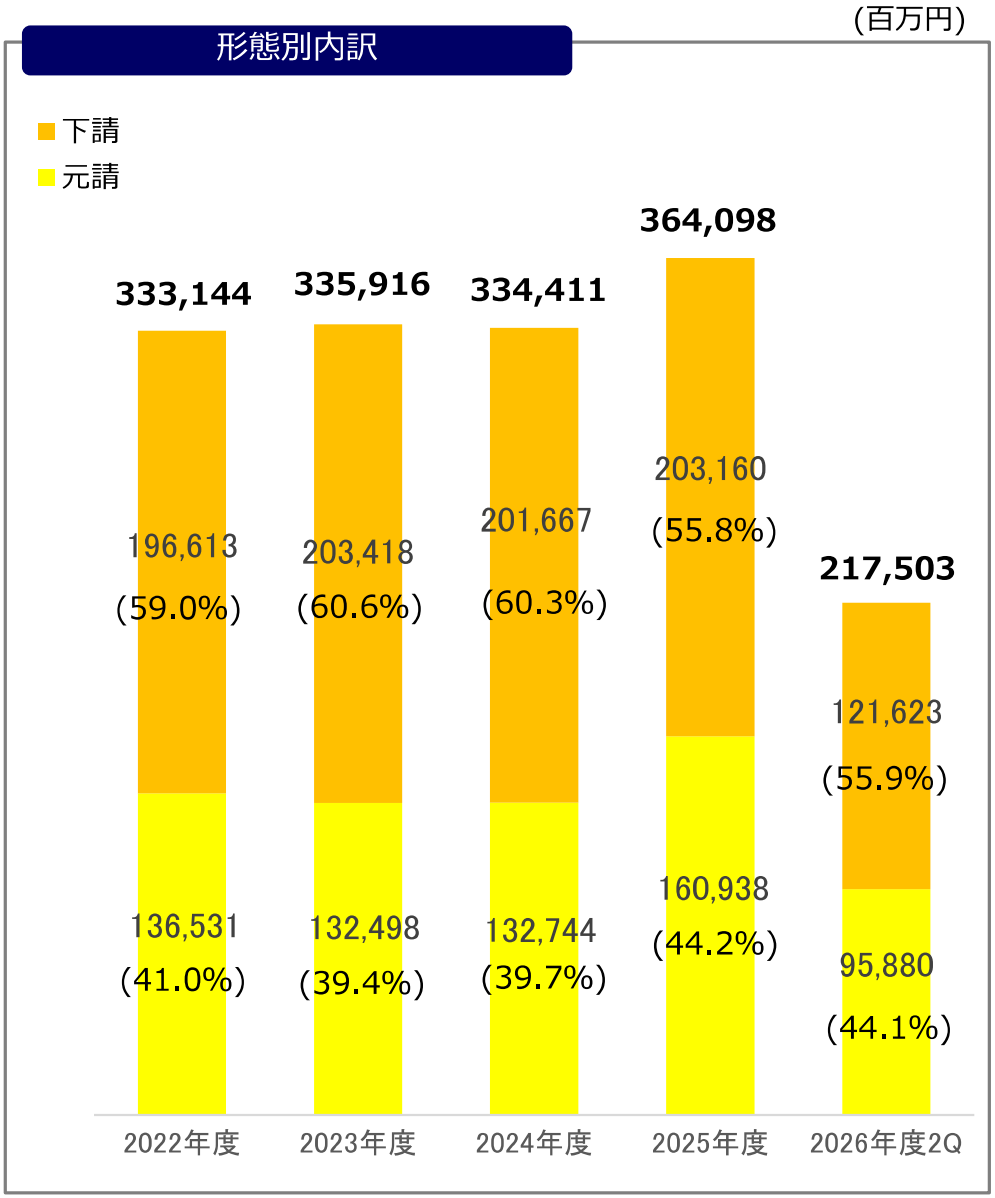
地域別受注高

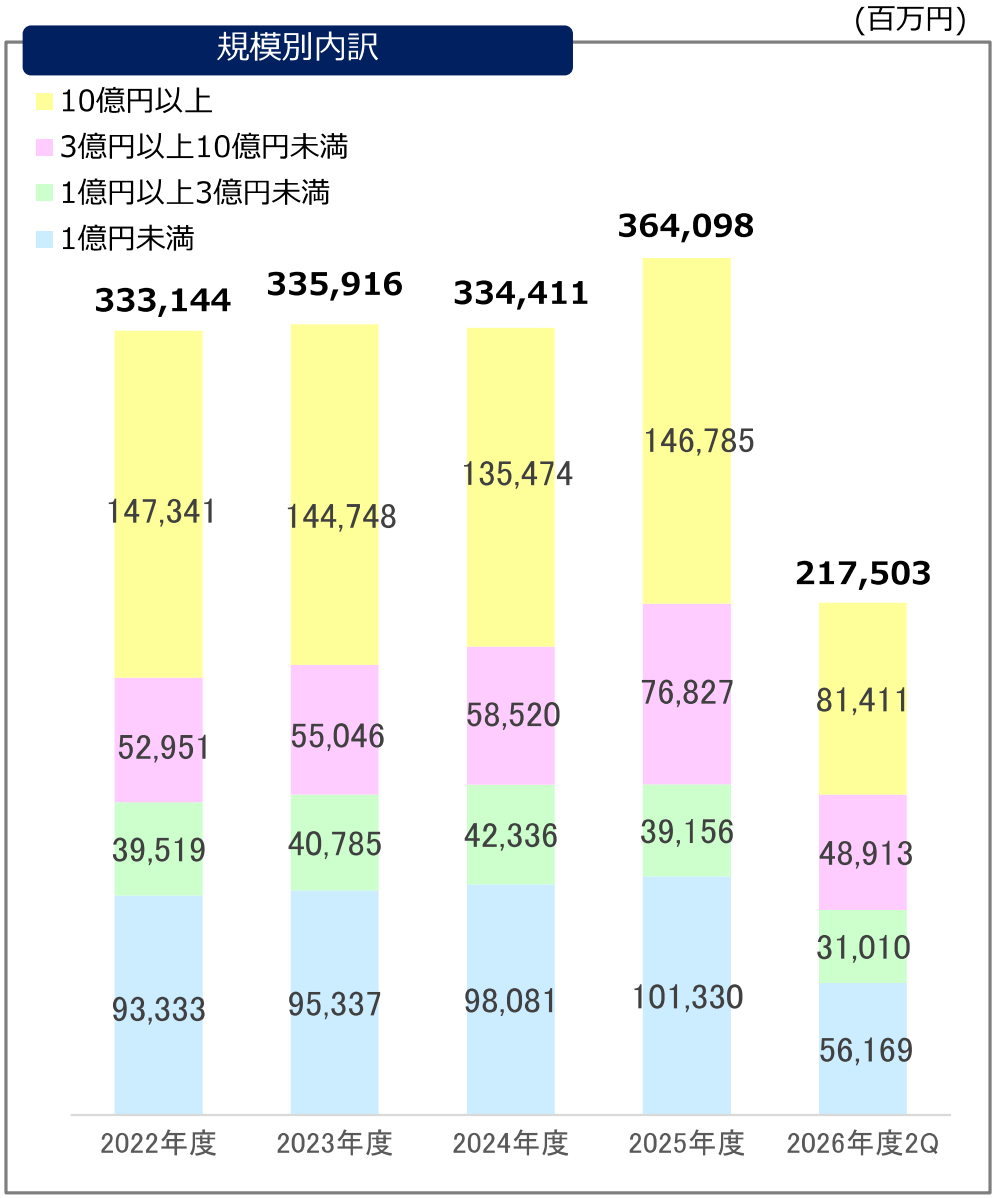
(百万円)



All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

受注高の形態・規模別内訳＜クラフティア単体（配電線除く）＞





All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

人財の採用実績（クラフティア単体）と期末要員数実績

«技術・技能者の定期採用人数実績»

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
技術・技能合計	384	342	336	387	306	259	292	357	360
高卒	271	253	253	263	225	187	196	231	234
大卒	113	89	83	124	81	72	96	126	126

«期末要員数実績»

	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3	2026.9
電気部門	2,359	2,468	2,519	2,563	2,620	2,755	2,918
空調衛生部門	1,188	1,212	1,202	1,216	1,254	1,319	1,398
電気・空調衛生部門の期末要員数	3,547	3,680	3,721	3,779	3,874	4,074	4,316
配電部門	1,566	1,519	1,471	1,437	1,438	1,476	1,515
その他	1,469	1,508	1,516	1,514	1,547	1,572	1,641
クラフティア単体従業員数	6,582	6,707	6,708	6,730	6,859	7,122	7,472
グループ従業員数	10,198	10,528	10,626	10,687	10,935	11,225	11,559

«グループ従業員約11,500名の内、約9,500名が技術・技能者»

	(クラフティア)		(子会社)		(グループ)
技能工数	約2,350	+	約2,150	=	約4,500
技術者数	約3,600	+	約1,400	=	約5,000

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

発電事業の投資状況

太陽光発電事業

グループ運営案件（定率法償却）

※設備投資を行い、事業全体をその他事業売上高に計上

	発電所数	発電容量（事業全体）	発電容量（持分相当）
稼動	51	102.7MW	98.1MW
建設中	-	-	-
合計	51	102.7MW	98.1MW

持分出資案件（定額法償却）

※投資有価証券の取得を行い、持分相当を営業外収益に計上

	発電所数	発電容量（事業全体）	発電容量（持分相当）
稼動	56	856.1MW	280.0MW
建設中	1	480.0MW	69.1MW
合計	57	1,336.1MW	349.1MW

風力発電事業

グループ運営案件（主に定率法償却）

※設備投資を行い、事業全体をその他事業売上高に計上

	発電所数	発電容量（事業全体）	発電容量（持分相当）
稼動	5	59.0MW	50.0MW
建設中	-	-	-
合計	5	59.0MW	50.0MW

持分出資案件（主に定率法償却）

※投資有価証券の取得を行い、持分相当を営業外収益に計上

	発電所数	発電容量（事業全体）	発電容量（持分相当）
稼動	5	369.2MW	67.4MW
建設中	-	-	-
合計	5	369.2MW	67.4MW

【出力抑制について】

・九州電力送配電による出力抑制は、4月から9月の期間で累計65回発令された。

・発令回数は前年同期より増加となった。（前年同期は累計53回）

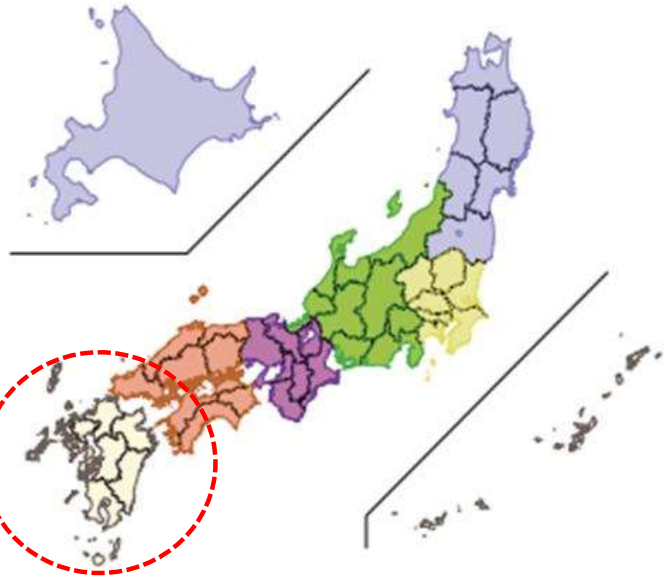
発電容量合計(持分相当)　**564.6MW**

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

宇久島の位置

■宇久島は、九州の長崎県佐世保市・五島列島最北端に位置。
長崎県本土から西へ約50㎞離れており、面積は約25㎢。







All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	2027年3月期 中間期 の主な内容
営業活動によるキャッシュ・フロー	733	21,135	税金等調整前中間純利益+31,047 売掛債権の回収　+19,895 仕入債務の減少　▲13,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲4,535	▲13,815	投資有価証券の取得　▲6,233 有形固定資産の取得　▲6,219
フリー・キャッシュ・フロー	▲3,802	7,320	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲6,389	▲10,446	長期借入金の返済　▲339 配当金の支払　▲9,196
現金及び現金同等物の増減額	▲10,210	▲3,110	
現金及び現金同等物の期首残高	70,437	50,548	
現金及び現金同等物の期末残高	60,312	47,437	

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION

設備投資の状況

		2026年３月期	2027年３月期 中間期
設備投資額		59億円	78億円
	設備工事業	41億円	18億円
		クラフティア本社・支店・営業所・寮設備 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約 ソフトウェア（DX関連）　他	クラフティア本社・支店・営業所・寮設備 工事用機械工具類 工事用特殊車両リース契約 ソフトウェア（DX関連）　他
	その他の事業	18億円	60億円
		機械装置 賃貸用不動産 ソフトウェア（DX関連）　他	機械装置 賃貸用不動産 ソフトウェア（DX関連）　他
減価償却実施額		69億円	40億円

All Rights Reserved. Copyright KRAFTIA CORPORATION